

# 青年招へい事業

中国

[交流レポート]

# 青年邀请计划

中国

[交流報告書]

JICA LIBRARY



J 1154065 (5)

1998

国際協力事業団

105  
36  
TAY

BRARY

青招

J R

99-05

---

**青年邀请计划 —中国—[交流报告书](1998)**

1999年3月31日

发行 国际协力事业团研修事业部 青年招聘课  
〒151-8558 东京都涩谷区代々木2丁目1-1  
新宿MAYNDS TOWER  
电话 (03) 5352-5401~3

编辑 财团法人 日本国际协力中心 国际交流部  
〒163-0189 东京都新宿区西新宿2-1-1  
新宿三井大楼内  
电话 (03) 5322-2561

---

未经许可不得转载。





# 信頼と友情への新 歩

走向信頼与友谊的第一步

平成10年度新日中青年の友情計画／新中国実務者招へい計画

1998年度新中日青年友谊计划／新中国基层工作人员邀请计划

## 開講式

开幕式



国際協力事業団より歓迎の挨拶  
国际协力事业团致欢迎词



いよいよプログラムがスタート  
活动就要开始了



来賓のスピーチに聞き入る中国実務者各団長  
中国基层工作者各分团团长在倾听来宾的讲话

## 共通プログラム

共同活动



お名前は? (体験的日本語学習)  
您贵姓? (实地日语学习)



どこへ行きましょうか (体験的日本語学習)  
去哪儿走走吧! (实地日语学习)



日本人ボランティアとさあ出発!  
与日本义务参加人员一起出发

# 共通プログラム

共同活動



熱心に講義に耳を傾ける青年たち  
青年们认真听讲



体を使って日本語を学びましょう  
身体力行学习日语



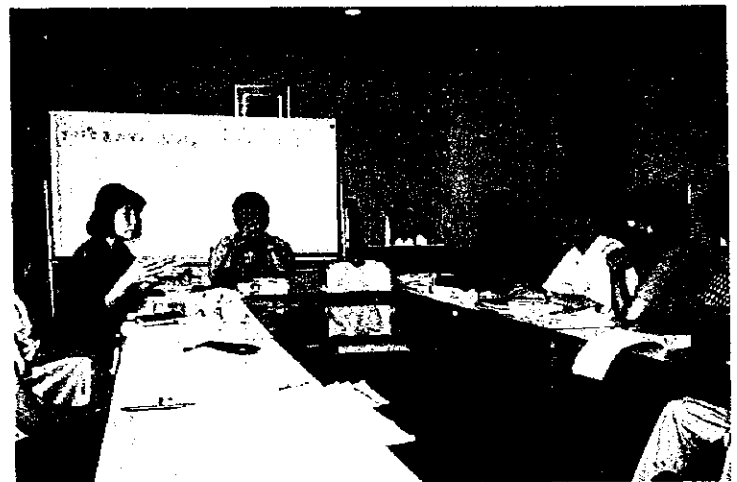
松下電器技術館を見学  
参观松下电器技术馆

# 合宿セミナー

合宿研讨会



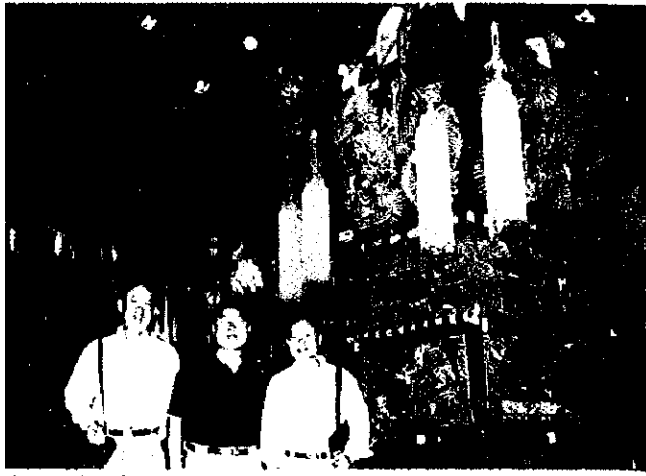
一致団結  
团结一致！



有意義だったディスカッション  
有意义的讨论会



おいしい餃子を作りますよ  
包饺子



国立民族学博物館でのコマ  
参観国立民族学博物館一景



明石海峡大橋を見学して  
参観明石海峡大橋



しなで記念撮影(明石海峡大橋にて)  
家一起合影留念(明石海峡大橋)



素敵な仲間に出会えたね  
认识了好朋友



浴衣、似合いますか？  
浴衣、适合我吗？



さあ、今度はあなたの番です(けん玉遊び)  
这回该轮到你了(托球游戏)

ホームステイ  
民宿活动



言葉は壁ではありません  
语言不是障碍



また必ず会いましょう  
一定再会

アジアを狭く感じた3日間でした  
深感亚洲狭小的三天



閉講式・歓送会  
毕幕式・欢送会



国際協力事業団から参加証の授与  
国际协力事业团颁发参加证书



思いを歌に  
寄思于歌



思い出をたくさん持ち帰ります  
满载美好回忆而归



共に過ごした良き仲間と  
朝夕相处的好朋友



1カ月間ありがとう  
一个月的活动衷心感谢



# 青年招へい事業

## 青年邀请计划

日本語編・日语篇 .....	3
中国語編・中文篇 .....	39



1154065 (5)

# 青年招へい事業



## はじめに

「青年招へい事業」は、国際協力事業団（JICA）が開発途上国を対象に実施する技術協力の一環として、アセアンをはじめ、アジア・太平洋・アフリカ・中南米諸国・中近東から、将来の国造りを担う青年を、専門分野別に約1カ月間招へいし、それぞれの分野について学ぶとともに、ホームステイ受入家族などとの幅広い交流を通じて相互理解を深め、信頼と友情を築くことを目的としています。

招へい国は当初アセアン6カ国でしたが、現在では太平洋諸国・地域、ミャンマー、中国、韓国、南西アジア諸国、モンゴル、アフリカ諸国、カンボディア、ラオス、ヴェトナム、中南米諸国、サウディ・アラビアおよび中央アジア諸国が加わり大きな広がりをもってまいりました。

平成10年度は、1,592名の青年を受け入れ、昭和59年度より平成10年度までの15年間で、日本を訪問したアジア・太平洋・アフリカ・中南米諸国・中近東の青年は18,194名に達しました。これはひとえに、関係各方面の皆様のご協力と温かいご支援によるものと、心からお礼申し上げます。

本報告書は、招へい青年、合宿セミナーに参加した日本青年、およびホームステイを引き受けていただいた全国の家庭の皆様から寄せられた感想文を中心に、招へい青年の滞在記録をとりまとめたものです。本報告書が本事業のさらなる発展の指針となり、また皆様の良き思い出の一助となれば幸いです。

なお、本報告書は今年度の全招へい青年および各国の関係者にも送付させていただく予定です。

最後となりましたが、心温まるご感想、ご意見をお寄せいただいた皆様ならびに関係者の方々に重ねて厚くお礼申し上げますとともに、「青年招へい事業」がさらに有意義なプログラムとなりますよう、今後ともご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

平成11年3月

国際協力事業団  
研修事業部  
部長 金子節志



## 目 次

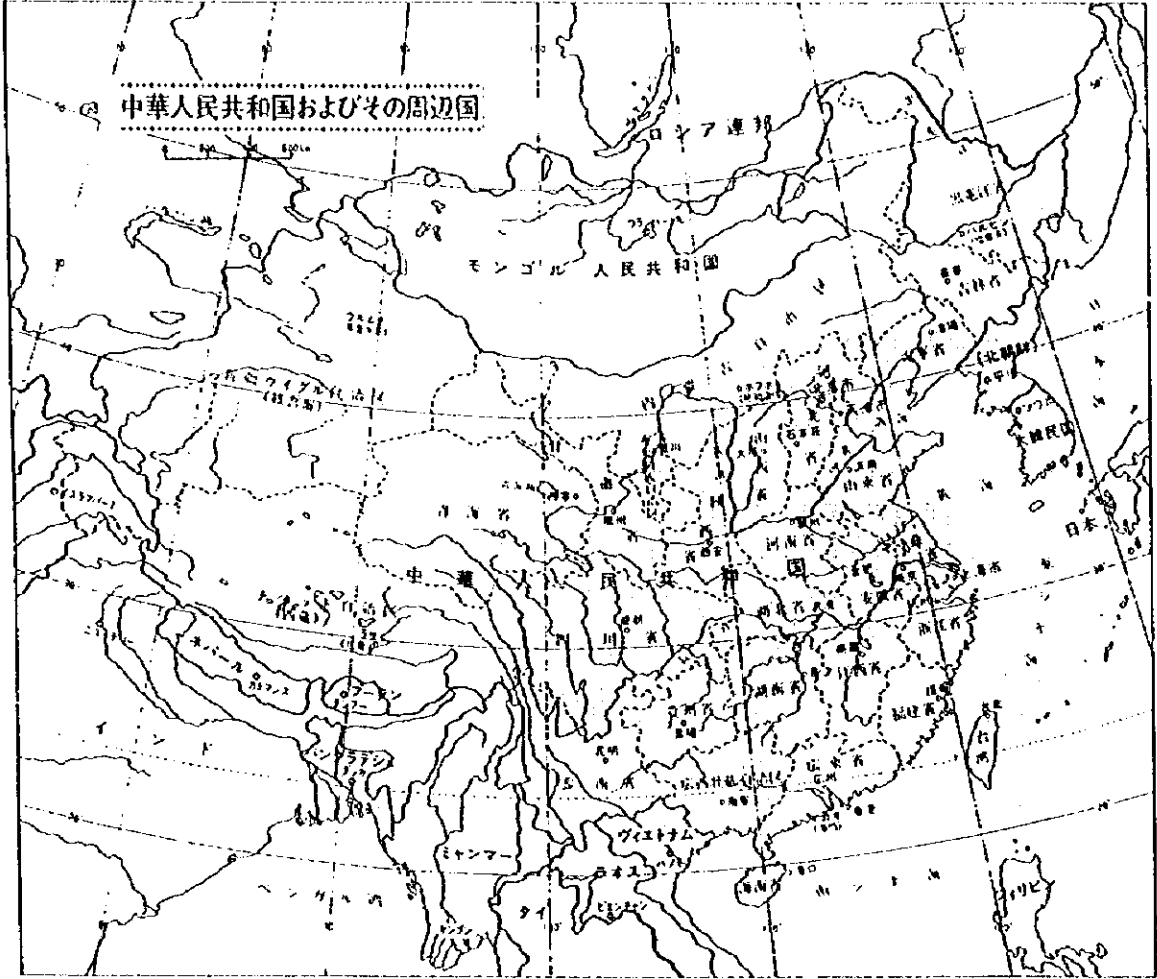
### はじめに

1. 新日中青年の友情計画	
(1) 事業の概要	11
(2) 招へい実績	12
2. 招へい青年の印象	15
3. 合宿セミナー参加日本青年の声	17
4. ホストファミリーの思い出	19

1. 新中国実務者招へい計画	
(1) 事業の概要	23
(2) 招へい実績	24
2. 招へい青年の印象	27
3. 合宿セミナー参加日本青年の声	29
4. ホストファミリーの思い出	31

### 実績資料

1. 実績一覧	
(1) 「新日中青年の友情計画」実績一覧	31
(2) 「新中国実務者招へい計画」実績一覧	35
2. 平成10年度青年招へい実績一覧	36





# 新日中青年の友情計画



# 1. 新日中青年の友情計画

## (1) 事業の概要

### 1) 事業の目的

「新日中青年の友情計画」は、日本と中国の青年の交流を通じ、21世紀に向けて、より良き未来と平和と繁栄を分かち合うために、相互理解と信頼を培うことを目的とする。

### 2) 実施方法

#### (a) 招へい人数

平成10年度は、100名を同時期に受け入れる。

#### (b) 招へい対象者

下記分野における指導的立場にある20～35歳の青年。

##### (i) 青年指導者 25名

青少年活動者及び関係者、スポーツ・文化・社会奉仕等団体関係者。

##### (ii) 経済青年 25名

企業等勤労者、公務員、ジャーナリスト。

##### (iii) 公務員 25名

他の分野に該当しない一般公務員。

##### (iv) 教員 25名

教育機関教員、教育関係公務員。

#### (c) 招へい期間

5月20日から6月16日までの約1カ月間。

### 3) プログラム概要

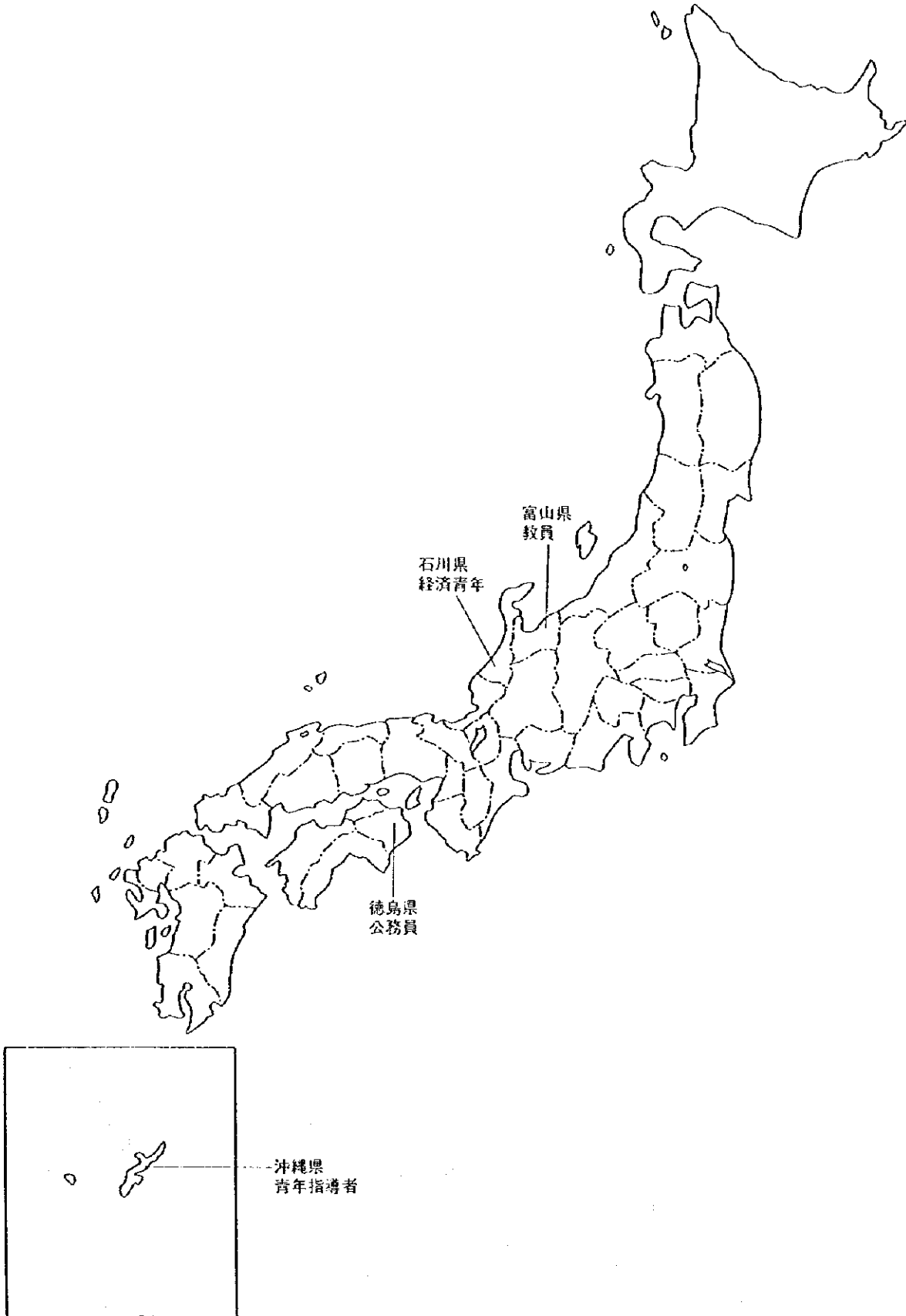
(教目間)	現地オリエンテーションプログラム	日本でのプログラムについての説明 日本語の日常会話の学習 渡航に係る説明等	
	来日		
(約一カ月間)	共通プログラム	日本の全体像について、正確な理解を促進するための文化、経済、歴史等の講義及び施設見学	
	分野別プログラム	都内 分野別プログラム	招へい分野の講義や関連施設の視察、研修
		合宿セミナープログラム	日本の同世代同分野の青年との意見交換、交流の場
	地方 分野別プログラム	招へい分野の講義や関連施設の視察、研修及び地方青年との交流等のプログラムの展開	
	ホームステイプログラム	日本の家庭生活の体験	
	見学旅行プログラム	日本の文化、伝統、歴史等を理解するための見学旅行	
帰国	評価プログラム	全プログラムに関する評価会	

### (2) 招へい実績

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県
青年指導者	25	青少年育成国民会議	沖縄
経済青年	25	ユースワーカー能力開発協会	石川
公務員	25	世界青少年交流協会	徳島
教員	25	国際交流サービス協会	富山

\*共通・評価プログラムについては、日本国際協力センターが全グループに対して実施した。

### 分野別プログラム実施都道府県





## 2. 招へい青年の印象

### 忘れ難い沖縄

徐 秀玲  
(青年指導者グループ)

沖縄での日々は、楽しくて忘れ難いものであった。ホームステイを通じて、私は日本人の生活習慣と純粋で善良な心を理解することができた。高粱美江子さんのご一家には、心温かい配慮をしていただいた。平和祈念館と海洋公園へ連れて行っていただいたり、私も家族の方に三鮮餃子を作る機会があった。

日本語と中国語という言葉の障害はあったが、筆談と身振り手振りによる交流でもしっかりと心を繋ぎ合わせることができた。別れる時には、辛かった。

帰国後、私は日本で学んだ知識と日本で受けた感銘を周囲の人々に伝え、研修成果を仕事の現場で生かしたいと思う。日中両国の青年は必ずや世々代々にわたって友好を維持し、自信をもって輝かしい21世紀を迎えるに違いないと確信している。

### 忘れられないホームステイ

王 韓民  
(経済青年グループ)

私は、初めて日本を訪問したのだが、日本の経済、文化に非常に興味を持っていた。このたびの訪日を通じて、日本の経済、文化と社会を全体的に理解できたと同時に、日本の友人にも中国の経済改革と発展の成果を紹介し、日中両国青年の相互理解と友情

を深めることができた。

日本滞在中、忘れられないのは、やはりホームステイだった。私を受け入れてくださったホストファミリーのご主人は60歳を超えているにもかかわらず、とても元気で、親切で気前のいい方だった。彼は私を小松市農業協同組合に連れて行ってくださった。そこで私は、日本の農業協同組合の農業生産経営における地位と役割を学び、農家にどのようなサービスを提供しているのか、今後どういった面での改革をしていくべきかを理解することができた。これらは、中国の農業の改革と発展において、積極的に手本とすべきものだと思う。ホームステイの2日間は、新鮮で楽しかった。

### 言葉の障害を乗り越えて

陳 冬  
(公務員グループ)

ホームステイは研修活動の中で、最も心を打たれた一幕だった。

私は、日本語が話せないのも、他の参加者と同様、最初はかなり不安だった。ところが、ホストファミリーの家に入った瞬間、すべてが予想外に順調だった。

お互いの自己紹介に始まり、家族全員で餃子を作ったり、果樹に肥料をやったり、町村施設見学、車で海に釣りに出かけたこと、村の人々との出会いやパーティー、これらすべて、私が習ったばかりの最低限の日本語と筆談、身振り手振りで、日本の皆さんと独特の交流をした。言語の壁は確かにあったが、中国と日本の民族には似ているところがとても多いし、私たちには共に持っている美しい感情もあり、今、共にここに生きているという共通の認識によっ

て以心伝心で気持ちが通じるようになった。このことが一番大切なことだと思う。

## 民族精神の上に立った対話、交流、相互理解

王 義軍  
(教員グループ)

日本民族と中国民族は文化的には源でつながっている。しかし、日本民族は長年の歴史の発展の過程で、特に明治維新の後、東西文化を取り込む中で確実に独自の民族文化と伝統文化を形成していった。今回の1カ月にわたる視察研修でこのことを、私は

深く感じた。

私は、各民族の文化・伝統は彼らの生活とは切り離せないもので、文化においては絶対的優劣、つまり正しいとか間違っているとか、ということはない、とずっと思っていた。

文化の対話と交流は対立と衝突に取って代われるということが、文明世界の人々の共通認識となるべきである。様々な文化の共存、相互理解があって初めて、平和、繁栄の世界を作ることができる。この意味から、JICA、及び青年招へい事業の実施にあたった各団体の仕事は崇高であり、心から感謝している。彼らが民族間の交流と対話のために有効なモデルを提供し、尽力していることに感謝する。



## 3. 合宿セミナー参加日本青年の声

### 思い出の味をいつか再び

川島 桃代  
(学生)

中国的朋友们、你们好！先日の合宿セミナーでは、いろいろとありがとう。山中湖でのディスカッションもハイキングも楽しかった。

なかでも、私にとっては餃子作りが一番の思い出だ。皮を練る中国男性陣の鮮やかな手つき。中国の女性はなんて幸せなんだろう、と思った。

部屋に帰ると、今度は互いの国の歌を次々と歌い合い、また家族の写真も見せ合った。それから私の手相を見てくれた人もいた。

「8回結婚するよ」なんて言われて、私は本気にしてしまった。まだ1回目の気配もないけれど、結婚した時には中国に新婚旅行に行こうと思っているので、また会いましょうね。

中国で再び餃子が食べられる日が来ることを楽しみにしている。

一定再見！

### とても簡単なこと

恒次 一樹  
(公務員)

「你好」「謝々」「对不起」、たったこれだけの言葉を覚えてだけで、緊張して静かだった移動中の車内が賑やかになった。クラブハウスに着く頃には、か

なり活発な交流がされていた。

合宿セミナーでのディスカッションやパーティーを通じて、日本の青年も中国の青年も、何ら変わりのない青年であることを認識した。そして、職場では多忙で煩雑な業務に追われているのだ。

ところで、私たちは国際交流というものを難しく考えすぎているのではないだろうか。私たちの、相手国に対して感じる違いとは、歴史、文化、あるいは政治・政策の違いにすぎないだろう。これからの社会を担う青年は皆同じく、各国との共存、平和を望んでいる、ということを感じさせられた合宿セミナーだった。

### 立場を超えて

坂本 太郎  
(公務員)

ディスカッションの話題が先の戦争に及んだ時、私は正直いって、少し不安がよぎった。しかし、日中双方の参加者の発言を聞くうちに、その不安は徐々に消えていった。

私たちは互いに、寛容さと謙虚さをもって過去の歴史を冷静に見つめ、分析し、未来への展望を話し合った。そして、たとえ国籍や立場、文化が違っていても、互いを理解し、互いを尊敬し合えることを確認することができた。

私たちの交流や相互理解は、ほんの小さな前進にすぎないかもしれないが、こうした“思い”の積み重ねが、やがては国同士の友好へと続いていくのではないだろうか。

この“思い”を友人たちにも伝えていきたい。今は、私はそう感じている。

## 国際交流は身近なこと

堀口 祥子  
(会社員)

合宿中、朝から晩まで「中国は……?」「日本は……?」と、質問の嵐。中国人の故郷を思う気持ちと、日本文化への関心の深さを強く感じた。

浴衣を着せてあげた時のことだ。「なぜ左が前なの?」「正式な場でもこれを着るの?」と、また質

問攻め。着てみると、彼女は「夢がかなった」と、大喜び。浴衣がすっかり気に入り、慣れない正座で何枚も写真を撮った。私は、「こんなことで喜んでもらっているの?」と恐縮しながらも、役に立てて得意満面。すっかり気をよくして、そのあと数人に浴衣を着せてしまった。

彼らと接して、「世界と自分とのかかわり」「故郷への誇り」を考えさせられた。そしてもうひとつ、「国際交流は身近なこと」だということ。これからの楽しみが、ひとつ増えた。

## 4. ホストファミリーの思い出

### 東洋の思想を見つめ直そう

高里 洋介  
(沖縄県)

21世紀はアジアの時代といわれているが、ホストファミリーとしての交流を通し、もっと近隣の国のことに目を向けなければいけない、と感じさせられた。

経済的な視点から国の力を見たならば、日本はいろいろな問題はあるにせよ、今のところはまだ先進国といわれているかもしれない。しかし、精神的な豊かさという視点で日本を見つめてみると、本当に豊かな国になっているのだろうか、と考えさせられた。

中国から来た、王緩平さんと2泊3日を共に過ごし、裸の付き合いをする中で、王さんの真面目さ、礼儀正しさ、慎み深さ、ものを大事にする姿勢に接して、かつては日本人も持ち合わせていたのに今は忘れてしまった大切なものを見せられたような気がした。

今回の体験は、私たち家族にとっても得難いことであり、妻、娘、息子がそれぞれに中国を見つめ直すきっかけを作ってもらった。

私と妻は、近いうちに中国を訪問するために中国語を学んでいる。娘も息子も王さんに会いに中国に行くんだ、とまだ見ぬ北京に思いを馳せている。イチヤリバ チョーデー（出会えば兄弟みたいなものだ、の意）で、中国の兄弟たちに会いに行くという楽しい目標がひとつできた。多くの日本人が外国に観光旅行に出かけるが、私たちは、王さんや減さん

や刘さんや張さんたちに会いに行くんだ、と思えるだけで幸せを感じる。

このような素晴らしい機会を与えてくださったJICA、沖縄県青少年育成県民会議の皆様心から感謝したいと思う。

### やさしい笑顔をありがとう

樹本 陽子  
(石川県)

我が家にホームステイした侯鴻さんは、笑顔がかわいくて、初対面なのに、私たち家族の心をなごませてくれた。とにかく、ゆっくりくつろいでほしい旨を伝えた。

彼女の滞在中に、たまたま隣の家に花嫁が来たので、真紅の打掛姿から白無垢まで、見てもらうことにした。それらの着物姿を熱心に見つめ、ふっくら結い上げた日本髪を不思議そうに見ていたので、身振り手振りにメモを加えて説明したが、どの程度理解してもらえたのかは分からなかった。しかし、“新郎新婦、beautiful”と笑顔を見せてくれた。ともあれ、珍しい光景に出会えたことを喜んでくれたようで、うれしかった。

別れは辛く、抱き合い涙にむせびながら、“ありがとう”と言うのが精一杯だった。やさしい笑顔とかたく握り合った手のぬくもりは決して忘れない。

請一定再来。

## 真面目で楽しいお髭の青年

住友 和美  
(徳島県)

「女性なら」ということでホームステイを引き受けたのだが、実際にやって来たのは、李眠さんという立派な髭の男性だった。ホームステイ中は、中国語を勉強している私の仲間とお茶を飲んだり話をしたりした。

食事は毎回、「おいしい」と言ってくれたが、特に好評だったのは、ホットプレートの焼き肉だった。李さんは、中国に帰ったらこの方法で焼き肉レストランを開く、と冗談を言って私たちを笑わせた。

李さんが私の両親に、たどたどしい日本語で「私の日本の父、日本の母」と、何度も繰り返すのが両親にとってはうれしかったのか、李さんが帰ってからも「李さんが来てくれて本当によかった」と話している。李さんのいた3日間は、我が家にとって、本当に楽しい有意義な毎日だった。

李さん、また来てください。

## 国際親善に一役買った赤ちゃん大使

北林 行雄  
(富山県)

辛虹さんを我が家に迎え、私たちは記念すべき時を過ごした。彼女は、中国では天安門広場のすぐそばに住んでいるという、モダンな女性で、英語も話せたので、新しい中国の姿を知ることができ、感謝している。

我が家は3回のホームステイ受け入れをしているが、今回は生後8カ月の長男が大活躍してくれた。長男は人見知りが始まる時期なのに、辛虹さんには特別になつき、彼女の心を一番強くつかんで国際親善をしてくれた。中国に4歳の娘さんを残してきた彼女には、赤ちゃんを抱けることが一番の喜びだったようだ。一人っ子政策の中国では、もう子供を産めないで、自分の息子のように可愛がってくれた。長男の成長の写真を送ることも含めて、今後の長い交流を、お互いに固く約束したのだった。

# 新中国実務者招へい計画



# 7. 新中国実務者招へい計画

## (1) 事業の概要

### 1) 事業の目的

「新中国実務者招へい計画」は、日本と中国の実務者の交流を通じ、中国の近代化建設を支援するとともに、21世紀に向けて、より良き日中の協力関係を構築するために、相互理解と信頼を培うことを目的とする。

### 2) 実施方法

#### (a) 招へい人数

平成10年度は、100名を同時期に受け入れる。

#### (b) 招へい対象者

以下の分野の指導的立場にある20～35歳の青年。

##### (i) 産業基盤整備 25名

地方政府関係者、地方の環境対策関係者等。

##### (ii) 経済開発 25名

経済関係者、貿易実務関係者等。

##### (iii) 地域振興 25名

省・自治区政府の農業関係者、地方政府の地域開発関係者（インフラ整備または経済・貿易関係者）、  
郷鎮企業関係者等。

##### (iv) 人材育成 25名

文化振興関係者、人材育成関係者等。

#### (c) 招へい期間

7月15日から8月11日までの約1カ月間。

### 3) プログラム概要

(数日間)	現地オリエンテーションプログラム	日本でのプログラムについての説明 日本語の日常会話の学習 渡航に係る説明等	
	来日	共通プログラム	日本の全体像について、正確な理解を促進するための文化、経済、歴史等の講義及び施設見学
(約一カ月間)	都内	分野別プログラム	招へい分野の講義や関連施設の視察、研修
		合宿セミナープログラム	日本の同世代同分野の青年との意見交換、交流の場
	地方	分野別プログラム	招へい分野の講義や関連施設の視察、研修及び地方青年との交流等のプログラムの展開
		ホームステイプログラム	日本の家庭生活の体験
	見学旅行プログラム	日本の文化、伝統、歴史等を理解するための見学旅行	
帰国	評価プログラム	全プログラムに関する評価会	

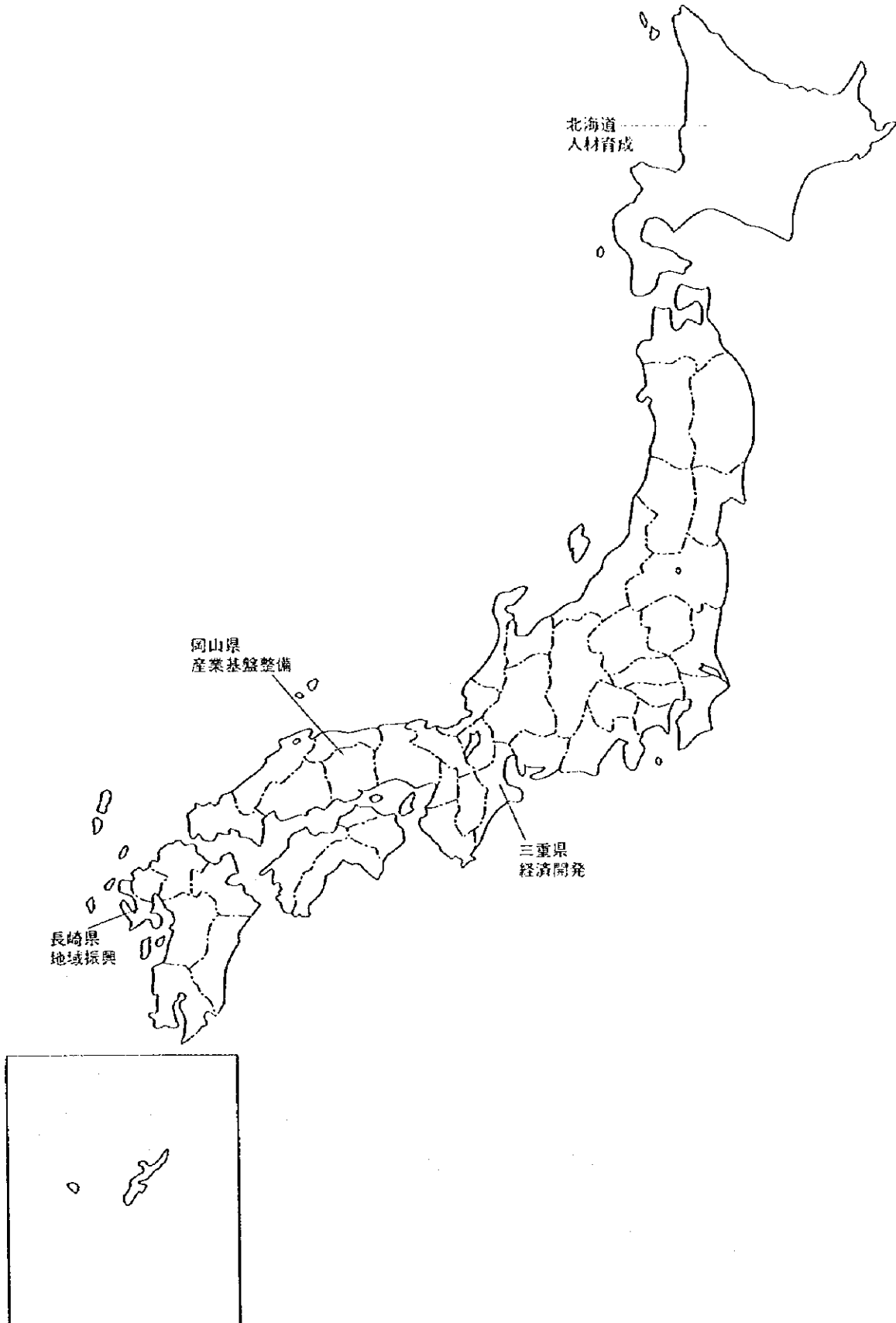
### (2) 招へい実績

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県
産業基盤整備	25	日本国際協力センター	岡山
経済開発	25	勤労厚生協会	三重
地域振興	25	世界青少年交流協会	長崎
人材育成	25	ユースワーカー能力開発協会	北海道

\* 共通・評価プログラムについては、日本国際協力センターが全グループに対して実施した。



### 分野別プログラム実施都道府県





## 2. 招へい青年の印象

### 訪日の感想

申 江 嬰  
(産業基盤整備グループ)

私たちが日本に滞在した28日間、JICAと関係機関は、産業基盤整備グループのために成果に富む多くの仕事をされ、豊多彩な特色あるプログラムを用意してくださいました。なかでも、瀬戸大橋、明石海峡大橋、吉備高原都市、三菱石油、NPT霞ヶ関情報センターの見学を通して、交通運輸、環境保護、情報産業における日本の発展状況、先進技術を深く理解することができた。

このほか、茶道、華道の体験、京都、奈良、姫路の見学を通して、日本の社会、文化、人々をよりよく知り、合宿セミナー、ホームステイを通して日本の青年と深い友情を結ぶことができた。今回のプログラムが21世紀を目指した日中両国の善隣友好関係の確立に積極的な役割を果たすものと確信している。

### 日中友好はみんなの願い

廬 聖亮  
(経済開発グループ)

1カ月があっという間に過ぎ、とうとうお別れを言わなければならない時が来た。

振り返ると、様々な思い出が目の前に浮かんでくる。日本で迎えた誕生日の2回のパーティー、なくした財布が見つかって届けられたこと、富士山の麓

で両国青年が心を開いて語り合い、別れに流した涙、涙……。三重県では、梨を売っていた農家の方が、私が中国から来たたと知ると、梨をひと箱プレゼントしてくれた。

困った事態に遭った時でも、見知らぬたくさんの方の日本の友人たちが、何から何まで温かく助けてくれた。これらの体験は、日本人の中国人に対する友情と熱意を、私に深く深く感じさせてくれた。

日中友好はみんなの願い。出会いは難しいが、別れはもっと難しい。私たちは、今、別れなければならぬ。しかし、私たちの心はますます近くなった。私たちの心が、日中友好のために永く脈打つことを願ってやまない。

### 世界はさらに素晴らしくなるだろう

鮮 偉怡  
(地域振興グループ)

日本に滞在中、私たちはほとんど毎日歌っていた。みんなが揃うと大きな声をそろえて、中国語、日本語で「乾杯」を歌い、研修がない時はすぐ「もしもし、亀よ」と口ずさんでけん玉の練習をし、別れの時になると「さようなら、さようなら、来年のこの日にまた会いましょう」といつまでも歌い、誰ひとりその場を離れようとしなかった。歌声は私たちお互いの気持ちと祝福、各々のふるさと、親しい人への賛美と思いを表した。歌は私たちを近づけ、私たちを感動させた。私たちは歌を通して相互の理解を深め、お互いの友情を深めた。

言葉は人々の交流の障害にならないと、この1カ月の経験を通して私は確信した。ただ、私たち一人一人が心を開き、広い心を持ちさえすれば、良い友達になることができると思う。同じように、国と国

との間も、友好的に付き合えば、世界は必ずやさらに素晴らしいものになるであろう。

## 21世紀に向かってともに邁進しよう

魏 振水  
(人材育成グループ)

日本の発展した経済、便利な交通や通信手段、優れた教育や文化施設、清潔な環境などは私に深い印象を与えてくれた。日本人の勤勉さ、合理性、秩序正しさは私にとっては忘れ難いものである。

特に今回の合宿セミナー、そしてホームステイでの日本人青年及び受入先の方々の誠心誠意の親善ぶりは本当に感動的なものだった。

21世紀は必ずや、世界経済のグローバル化が加速し、各国各民族の文化が相互に影響し合い、融合する世紀になるだろう。21世紀の平和、繁栄そして発展のために、世界各国の国民の努力が不可欠であろう。そのためには交流を強化し、理解を促進し、友情を深めることが、日中両国を含む世界各国の国民の共通の責任である。そのために、私は努力し、貢献したいと思っている。

最後に、私たちを招いてくれたJICA及び、関係機関の方々に、心より感謝の意を表したいと思う。

## 3. 合宿セミナー参加日本青年の声

### 新学期が始まった

坂井 建一郎  
(会社員)

一度にあんなにたくさんの人たちと知り合いになるのは学生時代の新学期のようだった。ただ、学生時代と違ったのは、その半分が中国から来た青年だったということだ。新学期というのほとても緊張したものだが、それとはちょっと違った期待と不安がいっぱい気持ちで参加した。

しかし、皆で一緒に話したり、食べたり、飲んだり、歌ったりしていると、時間はあっという間に過ぎてしまい、そんな緊張も束の間だった。中国語や英語、時には日本語を交えて眠い目をこすりながら夜中まで話し、合宿セミナーから帰るバスの中でも眠るのが惜しくて歌ったりゲームをして過ごした。いつも一日の終わりには、時間の流れの速さを感じた。

不思議なもので、こんな短い時間でも一緒に楽しい時間を過ごすと、お互いに興味を持って話ができるものなんだ、と思った。話すことでお互いのことをもっと知りたくなる。人と人の新しい関係の輪が始まったような気がする。

### 結婚と家庭生活について

富島 正雄  
(会社員)

合宿セミナーのディスカッションの中心テーマは「結婚と家庭生活」だった。中国青年のほとんどの方が結婚しているせいか、日本の青年のほうが、ディスカッションの最中だけでなく、ほかの場面においても、「理想のタイプは？」とか「なぜ結婚しないのか？」などという質問を浴びることになってしまった。私をはじめ、大半が未婚者の日本青年はたじたじだった。

そんな中、中国の方は“自分の家庭生活”“二人の出会い”等、心から楽しそうに話してくれ、日本と同様に中国でも晩婚化が進んでいることを心配していた。

私はこのディスカッションを通じて、日本人と中国人は言葉も文化も違うけれど、同じ幸福を目指し、同じ問題に直面する同じ人間なんだ、と思った。

皆さん、家族を大切に。

### 合宿セミナーを終えて

丸山 鈴香  
(会社員)

日中両国の関係はよく、一衣帯水と称される。しかし、互いに向き合って本音を語り合える交流は、実のところ、少ない。同じ世代の青年と直接、いろいろな話をしたい、そんな思いから私はこの合宿セミナーに参加することにした。

グループディスカッションに始まり、交流の夕べ、

そして夜を徹しての宴会。この3日間を通じて、三峡ダムと環境保護、中国の外交、住宅改革、それから、恋愛観や結婚観など、私たちはたくさん話をした。話してみれば、どこの国の青年も考えていることは同じなのだ、少しうれしくもあった。

魯迅の小説『故郷』の最後に次のような言葉がある。

「地上にもともと道はない。歩く人が多くなれば、それがすなわち道になるのだ」

今回のようなささやかな国際交流から、きっと大きな道ができるはずだ。熱海からの帰りのバスの中で、中国青年とピンポンゲームで大騒ぎをしながら、ふとそんなことを考えた。

## 中国青年との交流

佐藤 利行  
(公務員)

2泊3日という短い時間ではあったが、中国の同世代の青年と共同生活を送ることができた。日本と中国の青年の双方が、合宿セミナーを成功させようと、積極的に交流していたのは素晴らしいと思った。

中国の青年は友好的で礼儀正しく、日本の青年に対する気配りが感じられた。しかし、中国側は外交部等の海外と関係の深い部署に勤務している人が多かったせいか、緊張し過ぎて少し遠慮がちのように感じた。もし、十分にくつろいでいただけなかったとしたら、申し訳なく思う。

できるだけたくさんの人と交流するように心がけたが、話をしていると他人とは感じられず、“北京の兄”のような親しさを覚えた。

貴重な経験をさせていただいたことに感謝している。

## 4. ホストファミリーの思い出

### 書いて通じた中国語

佐々木 千代  
(岡山県)

友人たちと孫さんを囲んで食事会をするため、餃子を作っていると、孫さんが覗き込んで「ジョーズ」と言った。私は普められたと思ったのだが、中国では餃子のことを「ジョーズ」と言うそうだ。

そしてそのジョーズを囲んで食事会が始まっても、互いに相手の言葉が分からず、話ができていなかった。その時、孫さんが紙と鉛筆を出して漢字を書くと、全員が「オー！」と歓声を上げ、彼は漢字を次々に書き始めた。それからは、少しの英語と漢字でお互いの言うことを理解して、楽しい話が尽きなかった。そのことが私には不思議で、日本語のルーツを垣間見る思いがした。全員が中国を身近に感じ、広大な土地や遠い昔の友人に接したような夜を過ごした。

### 中国のジョンウェイさん

片岡 峰子  
(三重県)

今、一人暮らしをしている私の家にホームステイした鄭偉（ジョンウェイ）さんは、10人目の中国人のお客様だった。日本語のできない人が来たのは初めてだったが、私はいつも通りの自然体で過ごした。私の友人たちが待ちかねていた歓迎パーティーでは、中国語の会話が途切れることなく盛り上がり、夜中

の12時にやっとお開きとなった。

鄭さんの感想は、「中国にいるような感じ、私は運がよかった」ということである。

桑名の石取り祭りや私の山小屋への避暑には私の友人も同行し、生きた中国語の勉強になった。

鄭さんはパーフェクトTVニュースを楽しんだようで、私たちのどちらからともなく「電波に国境はないね」という感想が出たことが印象に残った。

お別れまでの御在所岳周辺でのドライブは満足してくれたようで、気持ちよく送り出すことができた。

### 言葉は通じなくても心は通じ合う

平尾 さよ美  
(長崎県)

言葉は通じなくても心は通じ合える、と実感した3日間だった。ホームステイの受け入れをするまでの一番の不安は、言葉が分からないことだったが、明るい性格の許さんに子供たちもすぐに慣れ、筆談と片言の英語で夜遅くまで語り合った。

8月1日は許さんの27歳の誕生日だった。異国の地で誕生日を迎えるのは珍しいことと思い、家族で誕生会をしたら、とても喜んでくれた。

“下次再見”（また会いましょう）と約束して、別れた。私たち家族にとって貴重な体験だった。

「To 全家

非常感謝 三天的細心照顧 再見 許 穎悟」

最後に、許さんが私たちに残してくれた言葉だ。

## 【 】 楽しみな勇明さんとの再会

石橋 芳之  
(北海道)

馬勇明さんとの出会いは、我が家にとって忘れられない夏の出来事となり、あっという間に過ぎた3日間で、本当に楽しいひとときだった。馬さんと知り合えて、中国を身近に感じアジアが狭く感じられた、というのが、私の感想だ。最高の出会いだった。家族もそれぞれに何かを感じたようだ。

中国語を勉強して中国に行って、また、勇明さんに会いたい。(長男、中学2年)

大好きになった勇明さんの家から中国の大学に行きたい。(次男、小学6年)

中国語を教えてもらって楽しかった。中国へ行ってみたい。(長女、小学4年)

絵本を読んでもらったり遊んでもらったことが、うれしかった。(三男、4歳)

中国の勇明さんと知り合い、家族皆が大好きになり、再会したいと思えるほど、貴重な体験ができたことに感謝したい。(妻)



# 実績資料

# 1. 実績一覧

## (1) 「新日中青年の友情計画」実績一覧

### ●平成6年度 (100名)

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県	JICA支部等	地方協力団体
青年指導者	25	青少年育成国民会議	岩手	東北	伊藤岩手県国際交流協会
勤労青年	25	日本経済青年協議会	鹿児島	九州	伊藤鹿児島県国際交流協会
公務員	25	日本ユースホステル協会	宮城	東北	宮城県ユースホステル協会
教員	25	青年海外協力協会	石川	北陸	伊藤石川県国際交流協会

### ●平成7年度 (98名)

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県	JICA支部等	地方協力団体
青年指導者	25	日本青年団協議会	岡山	中国	伊藤岡山県青年館
勤労青年	25	日本経済青年協議会	三重	東海	三重県連合青年団
公務員	23	国際交流サービス協会	長崎	九州	伊藤長崎県国際交流協会
教員	25	日本ユネスコ協会連盟	福島	東北	福島ユネスコ協会

### ●平成8年度 (100名)

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県	JICA支部等	地方協力団体
青年指導者	25	日本ユースホステル協会	宮城	東北	宮城県ユースホステル協会
経済青年	25	日本経済青年協議会	長崎	九州	長崎県世界青年友の会
公務員	25	ユースワーカー能力開発協会	福井	北陸	武生市国際交流協会
教員	25	日本国際協力センター	兵庫	関西	伊藤兵庫県青少年本部

### ●平成9年度 (100名)

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県	JICA支部等	地方協力団体
青年指導者	25	日本ユースホステル協会	宮城	東北	宮城県ユースホステル協会
経済	25	日本経済青年協議会	徳島	四国	徳島県日中青年交流協会
公務員	25	ユースワーカー能力開発協会	岩手	東北	伊藤岩手県国際交流協会
教員	25	国際交流サービス協会	栃木	関東	伊藤栃木県青年会館

### ●平成10年度 (100名)

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県	JICA支部等	地方協力団体
青年指導者	25	青少年育成国民会議	沖縄	沖縄	伊藤沖縄県青少年育成県民会議
経済青年	25	ユースワーカー能力開発協会	石川	北陸	小松市国際交流協会
公務員	25	世界青少年交流協会	徳島	四国	徳島県日中青年交流協会
教員	25	国際交流サービス協会	富山	北陸	伊藤とやま国際センター

\*共通・評価プログラムについては、日本国際協力センターが全グループに対して実施した。

## (2)「新中国実務者招へい計画」実績一覧

## ●平成6年度(100名)

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県	JICA支部等	地方協力団体
産業基盤整備実務者	25	日本国際協力センター	北海道	北海道	苫小牧国際交流センター
経済開発実務者	25	国際交流サービス協会	長崎	九州	長崎県世界青年友の会
内陸地域振興者	25	日本友愛青年協会	鳥根	中国	友愛青年連盟鳥根県支部連合会
文化・人材育成	25	世界青少年交流協会	岐阜	東海	岐阜県国際交流協会

## ●平成7年度(99名)

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県	JICA支部等	地方協力団体
産業基盤整備	25	日本ユースホステル協会	鳥取	中国	とっとり青友会
経済開発	24	勤労厚生協会	愛媛	四国	愛媛県国際交流協会
地域振興	25	世界青少年交流協会	香川	四国	香川県海外派遣友の会
人材育成	25	青少年育成国民会議	沖縄	沖縄	沖縄県青少年育成県民会議

## ●平成8年度(100名)

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県	JICA支部等	地方協力団体
産業基盤整備	25	世界青少年交流協会	山口	中国	世界青年徳山友の会
経済開発	25	勤労厚生協会	栃木	関東	栃木県外国青年招へい事業実行委員会
地域振興	25	日本国際協力センター	鳥取	中国	とっとり青友会
人材育成	25	青年海外協力協会	沖縄	沖縄	沖縄県青少年育成県民会議

## ●平成9年度(100名)

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県	JICA支部等	地方協力団体
産業基盤整備	25	世界青少年交流協会	兵庫	大阪国際センター	兵庫県青少年本部
経済開発	25	勤労厚生協会	鳥取	中国	とっとり青友会
地域振興	25	青年海外協力協会	北海道	北海道	十勝インターナショナル協会
人材育成	25	ユースワーカー能力開発協会	沖縄	沖縄	沖縄県青少年育成県民会議

## ●平成9年度(100名)

分野名	人数	実施協力団体	実施都道府県	JICA支部等	地方協力団体
産業基盤整備	25	日本国際協力センター	岡山	中国	岡山県国際交流協会
経済開発	25	勤労厚生協会	三重	東海	三重県国際交流協会
地域振興	25	世界青少年交流協会	長崎	九州	長崎県世界青年友の会
人材育成	25	ユースワーカー能力開発協会	北海道	北海道	十勝インターナショナル協会

\*共通・評価プログラムについては、日本国際協力センターが全グループに対して実施した。

## 2. 平成10年度青年招へい実績一覧

受入時期 陣・人数	国名	分野	人数	実施協力団体	実施県	地方団体
5月6日 1陣 19人	マレーシア	経済(経済)	24	青少年育成国民会議	滋賀	滋賀県青年団体連合会
6月2日	マレーシア	教育	25	日本ユースホステル協会	北海道	とまこまい国際交流センター
5月13日 1陣 19人	インドネシア	経済A	20	国際交流サービス協会	栃木	栃木県青年会館
6月9日	インドネシア	経済B	24	勤労厚生協会	群馬	アセアン青年招へい事業実行委員会
2陣 66人	インドネシア	教育	22	青年海外協力協会	山形	山形県青年海外協力協会
5月20日 1陣 19人	シンガポール	経済A	17	日本経済青年協議会	大坂	船大平洋人材交流センター
6月16日	シンガポール	経済B	17	勤労厚生協会	北海道	千歳国際交流協会
3陣 34人						
5月20日 1陣 100人	中国	青年指導者	25	青少年育成国民会議	沖縄	沖縄県青少年育成県民会議
6月16日	中国	経済青年	25	ユースワーカー能力開発協会	石川	小松市国際交流協会
6月16日	中国	公務員	25	世界青少年交流協会	徳島	徳島県日中青年交流協会
1陣 100人	中国	教員	25	国際交流サービス協会	富山	財とやま国際センター
5月27日 1陣 111人	ASEAN混成	環境保全	29	日本経済青年協議会	北海道	釧路市海外青年招へい事業実行委員会
6月23日	ASEAN混成	社会福祉	28	札幌国際プラザ	北海道	札幌国際プラザ
5陣 111人	ASEAN混成	保健医療	30	国際看護交流協会	群馬	群馬国際看護交流協会
	ASEAN混成	行政	24	青少年育成国民会議	福岡	九州・山口経済連合会
6月10日 1陣 35人	ブルネイ	社会開発	15	日本国際生活体験協会	広島	しょうばら国際交流協会
7月7日	ラオス	農林水産	20	高知県国際交流協会	高知	高知県国際交流協会
6月25日 1陣 39人	シンガポール	教育	20	日本ユースホステル協会	香川	香川県海外派遣友の会
7月22日	シンガポール	社会開発	19	ユースワーカー能力開発協会	沖縄	沖縄県国際交流財団
7月1日 1陣 99人	韓国	経済(経済)	24	日本ユースホステル協会	群馬	群馬県国際交流協会
7月28日	韓国	勤労(経済)	25	勤労厚生協会	北海道	帯広青年会議所
8陣 99人	韓国	教員(中学校)	25	国際交流サービス協会	茨城	茨城県外国青年招へい事業実行委員会
	韓国	学生(理工)	25	世界青少年交流協会	北海道	滝川国際交流協会
7月8日 1陣 112人	マレーシア	経済(中核)	24	日本ユースホステル協会	埼玉	上尾市国際交流協会
8月4日	マレーシア	農業開発	15	青年海外協力協会	大分	大分県海外協会
9陣 112人	マレーシア	科学技術開発	24	豊川市国際交流協会	愛知	豊川市国際交流協会
	インドネシア	農業	25	岩手県国際交流協会	岩手	岩手県国際交流協会
	インドネシア	社会開発	24	青少年育成国民会議	熊本	熊本県青年海外協力協会
7月15日 10陣 50人	ヴェトナム	経済	25	ユースワーカー能力開発協会	兵庫	神戸国際協力センター
8月11日	ヴェトナム	農業	25	青年海外協力協会	和歌山	和歌山県青少年育成協会
7月15日 11陣 100人	中国	産業(経済)	25	日本国際協力センター	岡山	岡山県国際交流協会
8月11日	中国	経済開発	25	勤労厚生協会	三重	三重県国際交流協会
11陣 100人	中国	地域振興	25	世界青少年交流協会	長崎	長崎県世界青年友の会
	中国	人材育成	25	ユースワーカー能力開発協会	北海道	十勝インターナショナル協会
8月19日 12陣 69人	タイ	経済A	20	日本経済青年協議会	鹿児島	鹿児島県国際交流協会
9月15日	タイ	経済B	24	勤労厚生協会	愛知	ジャパンヤングサークル東海支部
12陣 69人	タイ	農業	25	日本青年協議会	岡山	岡山県青年館

受入時期 陣・人数	国名	分野	人数	実施協力団体	実施県	地方団体
8月19日 9月15日 13陣 45人	フィリピン フィリピン	経済A 農業	20 25	日本国際協力センター 青年海外協力協会	香川 石川	香川県国際交流協会 石川県国際交流協会
8月26日 9月22日 11陣 29人	バブア・ニューギニア バブア・ニューギニア	公務員 教員	10 19	世界青少年交流協会 青年海外協力協会	新潟 静岡	新潟県国際交流協会 沼津国際交流協会
9月23日 10月20日 15陣 30人	ブータン/モルディブ ネパール スリ・ランカ	養育(中・高教員) 養育(中・高教員) 養育(中・高教員)	10 10 10	国際交流サービス協会 日本国際協力センター 世界青少年交流協会	佐賀 長野 鳥根	佐賀ユネスコ協会 (社)駒ヶ根青年会議所 鳥根県国際交流青友会
10月7日 11月3日 20人	サウディ・アラビア	養育(中・高教員)	20	青年海外協力協会	福島	にほんまつ地球市民の会
10月14日 11月10日 16陣 92人	アフリカ英語圏 アフリカ仏語圏 アフリカ英語圏 アフリカ仏語圏	女性教員 女性教員 理数科教員 理数科教員	21 21 24 23	青少年育成国民会議 世界青少年交流協会 大阪府国際交流財団 青年海外協力協会	福井 静岡 大阪 青森	武生市国際交流協会 静岡県国際交流協会 大阪府国際交流財団 青森県青年海外協力協会
11月11日 12月8日 17陣 59人	太平洋混成 太平洋混成 フィジー	公務員 教員 公務員	24 23 12	日本経済青年協議会 日本国際生活体験協会 国際交流サービス協会	徳島 愛媛 福岡	徳島県青年海外協力協会 愛媛県国際交流協会 福岡県海外青年招へい事業実行委員会
11月18日 12月15日 18陣 60人	ミャンマー バングラデシュ パキスタン	教育 養育(中・高教員) 女性中・高教員	20 20 20	日本国際協力センター 青年海外協力協会 日本ユースホステル協会	秋田 京都 宮城	秋田県世界青年友の会 青年海外協力協会近畿支部 宮城県ユースホステル協会
11月25日 12月22日 19陣 58人	インド カンボディア	養育(中・高教員) 経済	28 30	世界青少年交流協会 青少年育成国民会議	岐阜 兵庫	岐阜県世界青年友の会 兵庫県青少年本部
11月25日 12月22日 20陣 109人	ASEAN混成 ASEAN混成 ASEAN混成 中央アジア混成	教育 経済1 経済2 経済	25 29 30 25	愛知県国際交流協会 日本経済青年協議会 勤労厚生協会 青少年育成国民会議	愛知 鳥取 山口 北海道	愛知県国際交流協会 とっとり青友会 山口県国際交流協会 北海道YMCA
1月13日 2月9日 21陣 97人	タイ タイ ヴェトナム ヴェトナム	教育 社会開発 公務員 教育	22 25 25 25	日本国際協力センター 国際交流サービス協会 日本ユースホステル協会 ユースワーカー能力開発協会	山梨 大阪 福島 宮崎	青少年育成山梨県民会議 大阪府青少年活動財団 福島県青年海外派遣友の会 ユースワーカー能力開発協会宮崎支部
1月13日 2月9日 22陣 80人	フィリピン フィリピン フィリピン モンゴル	教育 社会開発 経済B 勤労青年	22 26 22 10	日本国際生活体験協会 日本ユースホステル協会 青少年育成国民会議 世界青少年交流協会	愛媛 石川 千葉 山口	愛媛県青年海外協力協会 石川県ユースホステル協会 千葉県国際交流協会 世界青年徳山友の会
1月20日 2月16日 23陣 49人	中南米混成 中南米混成	社会福祉 小中教員	22 27	世界青少年交流協会 青年海外協力協会	岡山 沖縄	岡山県世界青年友の会 沖縄県国際交流財団
合計	71グループ 110カ国・地域 1,592名	IIASEAN 6カ国(74) ミャンマー(20) 太平洋14カ国・地域(88) 中国(200) 韓国(99) 南西アジア7カ国(98) モンゴル(10) アフリカ49カ国(92) インドシナ3カ国(150) 中南米21カ国(49) サウディ・アラビア(20) 中央アジア5カ国(25)				



# 青年邀请计划





## 前 言

“青年邀请计划”是国际协力事业团(JICA)对发展中国家所开展的技术合作的内容之一。从东盟亚太、非洲及中南美、中近东各国邀请承担将来国家建设的青年来我国，并根据各专业进行为期一个月的访问活动。其目的在于了解各领域的实际情况，同时通过与民宿家庭等广泛交流加深相互理解，培育信赖关系与友谊。

被邀请的国家也从当初的东盟六国扩大到了现在的太平洋各国及地区，缅甸、中国、韩国、东南亚各国、蒙古、非洲各国、柬埔寨、老挝、越南、中南美各国、沙特阿拉伯及中亚各国。

一九九八年，接待了一千五百九十二名青年来访。自一九八四年至一九九八年的十五年中，应邀访问日本的亚太、非洲及中南美、中近东各国青年已达一万八千一百九十四名。这与有关方面各位的大力协助和热情支持是分不开的。在此，我谨向各位表示由衷的谢意。

本报告以访日青年、参加合宿研讨会的日本青年以及全国各地民宿接待家庭各位的感想为主，综合记录了访日青年的活动内容。如本报告能为本事业的进一步发展起到借鉴作用，并为各位留下一个美好的回忆，我将感到不胜荣幸。

本报告将寄给本年度所有应邀来访的青年和各国的有关各位留念。

最后，我再次向寄来热情洋溢的感想和宝贵意见的各位及其他有关各位表示深挚的谢意，为使“青年邀请计划”的交流内容更富有意义，今后还望各位予以大力支持与合作。

国际协力事业团  
研修事业部  
部长 金子节志  
一九九九年三月



# 目 录

## 前 言

一、新中日青年友谊计划	
1. 计划概要 .....	17
2. 计划实施情况 .....	18
二、应邀青年的感想 .....	51
三、参加合宿研讨会的日本青年的感想 .....	53
四、民宿主人的感想 .....	55
一、新中国基层工作人员邀请计划	
1. 计划概要 .....	59
2. 计划实施情况 .....	60
二、应邀青年的感想 .....	63
三、参加合宿研讨会的日本青年的感想 .....	65
四、民宿主人的感想 .....	67
实施情况等资料	
1. 迄今为止实施的青年邀请计划一览表	
(1)新中日青年友谊计划 .....	70
(2)新中国基层工作人员邀请计划 .....	71
2. 1998年度青年邀请计划实施情况一览表 .....	72



# 新中日青年友谊计划



# 一、新中日青年友谊计划

## 1. 计划概要

### 1) 目的

“新中日青年友谊计划”的目的是，为了面向21世纪，中日两国分享更好的未来、和平和繁荣，通过日本与中国青年的交流，增进相互之间的理解和信赖。

### 2) 实施方法

#### A 邀请人数

1998年度一次邀请100名青年

#### B 邀请对象

在以下各领域里从事领导工作的20~35岁的青年

##### (I) 青年工作者 25名

青少年活动有关工作人员、体育·文化·社会服务等团体有关工作人员

##### (II) 经济 25名

企业等的工作人员、公务员、新闻工作人员

##### (III) 公务员 25名

除了其它三个分团领域以外的一般公务员

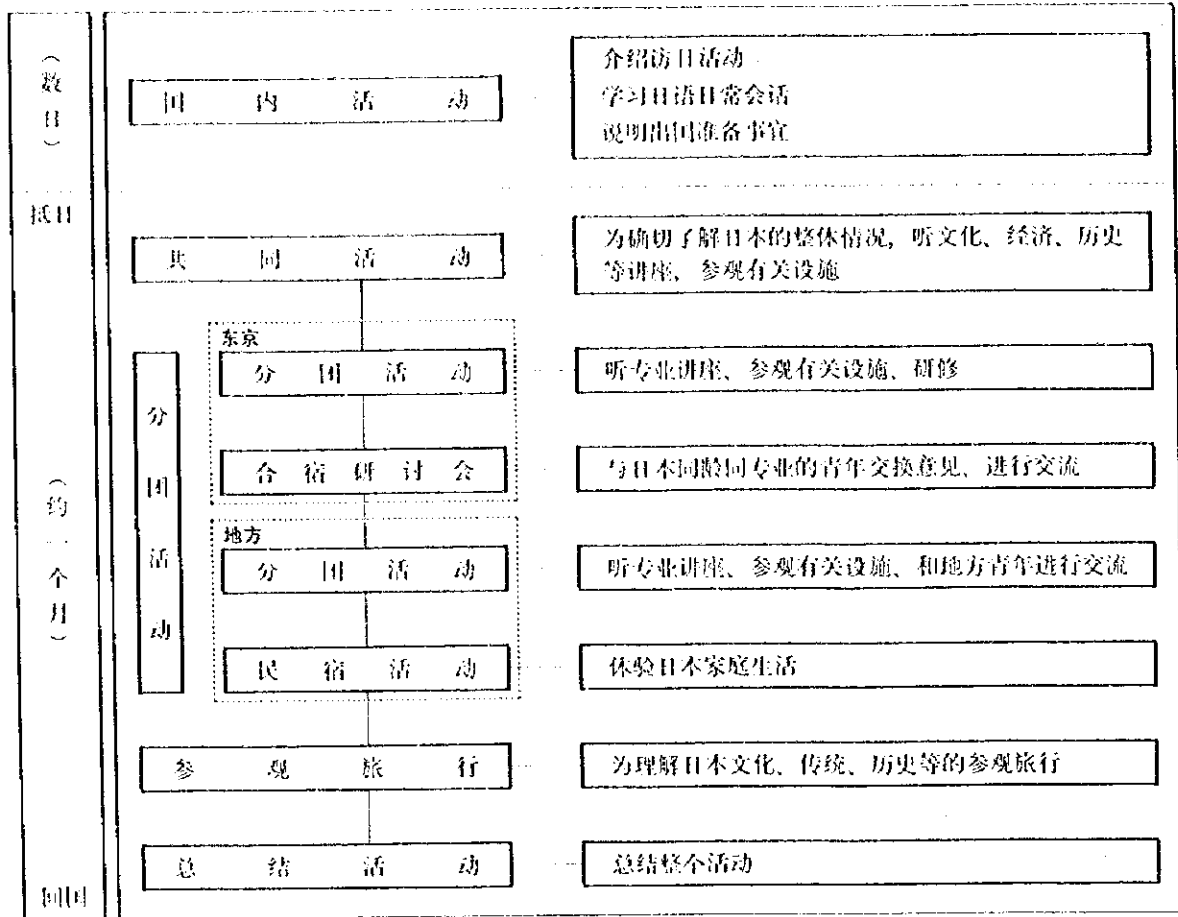
##### (IV) 教员 25名

教育机关的教员、教育有关的公务员

#### C 邀请日期

5月20日~6月16日约一个月

### 3) 日程概要



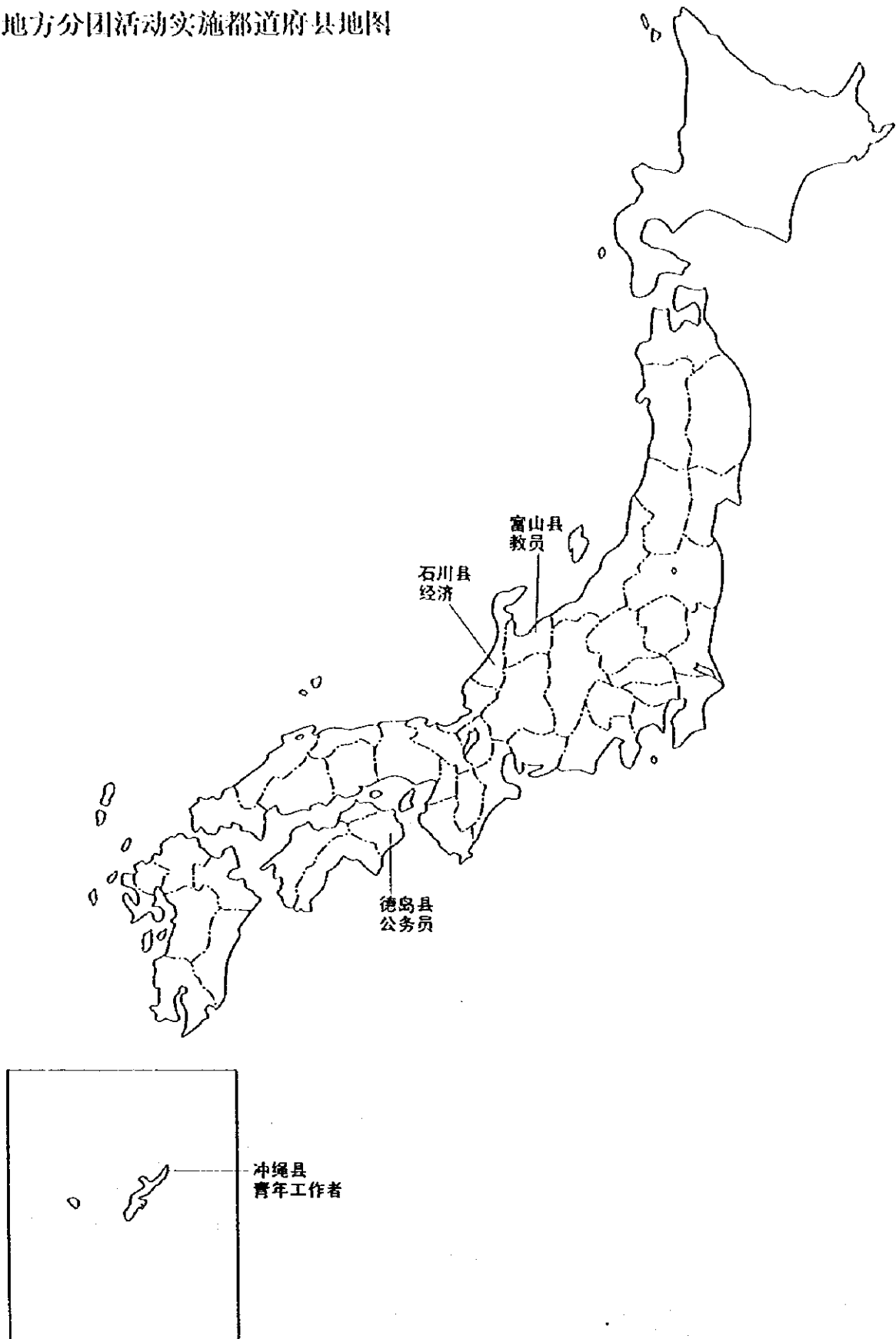
### 2. 计划实施情况

分团	人数	实施协助团体	实施都道府县
青年工作者	25	青少年育成国民会议	冲绳
经济	25	青年工作者能力开发协会	石川
公务员	25	世界青少年交流协会	德岛
教员	25	国际交流服务协会	富山

\*日本国际协力中心为所有分团安排实施了共同活动和总结活动。



### 地方分团活动实施都道府县地图





## 二. 应邀青年的感想

### 难忘冲绳岛

徐秀玲  
(青年工作者分团)

冲绳岛的时光愉快而难忘。民宿活动使我体验到了日本家庭的生活习俗及他们纯朴善良的真挚情意。在高梁美江子家受到了亲切的关怀与照顾，她家邀我参观了和平纪念馆，游览了海洋公园，我还为她家包了三鲜水饺。语言有障碍，但笔谈手势的交流能沟通彼此的心灵，离别时我们已是难舍难分。回国后，我将把在日本学到的知识与感受告诉周围的人们，并把研修成果运用到实际工作中去。中日青年一定能世代友好，昂首阔步迈向光辉灿烂的二十一世纪。

### 难忘的民宿

王韩民  
(经济分团)

我是第一次来到日本的，对日本的经济、文化怀有浓厚的兴趣。

通过这次访日，使我对日本的经济、文化和社会有了全面的了解，同时还向日本朋友介绍了我国经济改革和发展的巨大成就，增进了中日两国青年的相互理解和友谊。

访日期间，最难忘的还是民宿活动。接待我的民宿主人虽已年过花甲，但精神十分饱满，待人热情、大方。民宿主人还陪同我拜访了小松市农业协同组合。在那里，我了解到了日本农业协同组合在日本农业生

产经营中的地位与作用，也知道了他们是如何为农户提供服务的，目前还要进行哪些方面的改革。这些对我们中国农业的改革与发展都有积极的借鉴意义。

在民宿家庭度过的两天，既新鲜又愉快。

### 语言的超越

陈冬  
(公务员分团)

民宿是研修活动最引人入胜的一幕。开始时，我和其他团员一样由于语言的障碍，都怀有淡淡的忧虑。但从进入民宿主人家的那一刻起，一切都进展得出乎意料的顺利。从最初相互间的情况介绍到全家围在厨房包饺子，从参加果树施肥到参观乡村设施，从驱车去海边垂钓到乡间别开生面的聚会，我利用刚学的最简单的日语会话加上笔谈和手势，与日本朋友进行独特的交流。我感到语言的障碍固然存在，但两个民族的相似性，人与人之间许多共同的美好情感以及对我们生存的这个世界上越来越多的共识，达成了心灵的默契和情感的沟通。这些也许是最宝贵的。

### 立足于民族精神的对话、交流与互补

王义军  
(教员分团)

虽然日本民族与中华民族具有一定的文化上的渊源关系，但日本民族在长期的历史发展中，特别是明治维新之后，在对东西方文化的兼收并取中，确实已经形成了自己独特的民族精神和文化传统。这一次为期近一个月的考察研修，使我更深刻地感受到了这一点。

我始终认为，各民族的文化传统是与他们的生活

相一致的，在文化上没有绝对的优劣对错之分。文化的对话与交流应取代对峙与冲突，这应成为文明世界人们的共识。只有各种文化的开存、互补才能造成一个和平、繁荣的世界。从这个意义上说，日本国际协力事业团以及实施邀请计划的日本各团体的工作是崇高的，对他们的工作，我表示衷心的感谢。感谢他们为民族间的交流与对话提供了一个有效模式并付出了辛勤的劳动。

## 三. 参加合宿研讨会的日本青年的感想

### 何时再相会

川岛桃代  
(学生)

中国的朋友们：你们好！在合宿研讨会上能与你们尽情交流，十分感谢。山中湖的讨论和散步非常愉快。

其中给我留下最深印象的是包饺子。看着中国男队做饺子皮时是那么娴熟、灵巧，我很感慨：中国的女性为何如此幸福！

回到房间，我们一遍又一遍地歌唱两国的歌曲，介绍家人的照片，而且还有人特意为我看了手相。

听他们说：“我要结八次婚！”我真地信以为真了。虽然第一次结婚还没影呢，但我想结婚时一定要到中国去新婚旅行，希望我们再相会。

我期盼着在中国吃饺子的那一天早日到来。  
一定再见！

### 非常简单

恒次一树  
(公务员)

“你好！”“谢谢！”“对不起！”只要你会这简单的几句话，就会使那跑在路上的寂静而充满紧张气氛的车里活跃起来。抵达俱乐部的时候，交流已是热烈非凡。

通过合宿讨论和交流，我认识到无论日本青年还是中国青年都是没有什么区别的青年，而且都在各自

的岗位上为烦杂的事务而忙碌着。

然而，迄今我们是否把国际交流想得太复杂了呢？合宿研讨会使我感到，我们彼此所感到不同的不过是历史、文化，或者是政治、政策的不同，肩负社会未来的青年们都同样希望各国间的共存与和平。

### 超越立场

坂本太郎  
(公务员)

坦率地说，当讨论的焦点集中到过去的战争问题上时，我真有点不安。然而随着日中双方青年的发言，这种不安渐渐地消失了。

我们彼此以宽容和谦逊的态度冷静地面对过去的历史，展望美好的未来。即使国籍、立场、文化有所不同，但可以作到相互理解和尊敬，对此我们达成了共识。我们此次的交流和相互理解或许只是一个小小的前进，但这每一个小小前进的积累难道不能铺起一条两国友好的光明大道吗？

我很想把这点体会转达给更多的朋友们。

### 国际交流近在咫尺

堀口祥子  
(公司职员)

合宿时，从早到晚都充满了“中国呢？”“日本呢？”的提问声。我强烈地感受到中国人思念故乡的切切深情和对日本文化的浓厚兴趣。

给中国青年穿浴衣的时候，“为什么左边在上呢？”“正式场合也穿吗？”提问一个接着一个。刚穿上浴

衣，“啊！我如愿以偿了”她兴高采烈地说，一边欣赏着浴衣一边以那还未习惯的跪坐连拍了数张照片。这点小事居然也能让她这么高兴，我感到有些过意不去。但想到自己能做点有益的事情，又不禁沾沾自喜，心情大转，接着又给几位朋友穿上了浴衣。

与她们接触使我不由得思考起“世界与自己的关系”，“故乡的自豪和骄傲”，还有一个就是“国际交流近在咫尺”。今后，我又增添了一个新的乐趣。

## 四. 民宿主人的感想

### 重新认识东洋思想

高里洋介  
(冲绳县)

人们说二十一世纪是亚洲的时代，作为接待家庭通过民宿交流我感到应该更进一步地关注隣国，如果从经济角度衡量国力的话，日本虽有诸多问题，但在现阶段或许可以说是发达国家。然而从精神的丰富程度来看，日本是否是个真正富裕的国家呢？

我与从中国来的王绥平先生共度了两晚三天，切肤之交使我看到了他朴实坦诚、谦虚谨慎、彬彬有礼和珍惜东西的美好品德，使我仿佛又看到了日本人曾经有过而今却被遗忘了的东西。

此次体验对我们全家人来说都是难得的，为我妻子、女儿和儿子各自重新认识中国提供了良机。为了在不久的将来访问中国，我和妻子正在学习中文。女儿和儿子也嚷着去中国见王先生，他们已将美好的意愿驰骋在未曾目睹的北京。相见如兄弟，去见中国兄弟的这个愉快的目标已定。很多日本人去外国观光旅行，但我们一想能见到王先生、臧先生、张先生和刘先生就已经倍感幸福了。

对我们提供这样难得机会的JICA以及冲绳县青少年育成县民会议的各位表示由衷的感谢！

### 感谢你那和蔼可亲的笑容

榎本阳子  
(石川县)

我家接待的侯鸿总带着一副可爱的笑容。初次相见就给我们全家人的心里带来了一种温馨与平和。我们告诉她无论如何要好好休息。

逗留期间恰逢隣居取媳妇，所以我们决定让她好好看看从那大红的到洁白的和式婚礼服。她用心地看着那些和服容姿，不可思议地望着那蓬松隆起的日式发髻。我们又比手划脚又笔谈使劲地向她说明，可不知她究竟明白了多少。尽管如此，她依然是笑容可掬地对我们说：“新郎新娘，漂亮”。不论怎样，看到她为巧遇良机而高兴，我们也就十分欣慰了。

离别时，我们抱在一起，难舍难分，泪流满面，哽咽之中说声“谢谢”已是竭尽全力了。和蔼可亲的笑容和那紧握在一起的双手的温暖将永远铭记在我们心中。

请一定再来！

### 诚实快活的大胡子青年

住友和美  
(德岛县)

以接待女青年为条件报名参加了民宿接待活动，可实际上来的却是一位叫李岷的留着英俊胡须的男青年。民宿期间，他与我那些正在学中文的朋友们饮茶攀谈。

每次吃饭的时候他都说“好吃”，但他较喜欢的是铁板牛肉。李先生开玩笑地说回国后也开一个这样的餐馆，逗得我们开怀大笑。

李先生用结结巴巴的日语多次对我父母说：“我的

日本爸爸，日本妈妈”。也许这对我父母来说非常难得，所以他们在李先生回国以后还经常说：“李先生来我们家真是太好了！”李先生逗留的三天对我们全家来说实在是愉快而又有意义的三天。

李先生，欢迎你再来！

## 为国际友好出力的婴儿大使

北林行雄  
(富山县)

我家迎来了辛虹小姐，我们度过了值得纪念的美好时光，听说她住在中国天安门广场附近，她是个现代派的摩登女性，还会讲英语。从她那里我们了解到了新中国的现状，非常感谢。

我家参加过三次民宿接待活动，而这一次我那出生八个月的长子可是活跃万分，虽然正是认生的时候，可却格外地喜欢辛虹，强烈地吸引着辛虹的一颗心，为国际友好出了大力。民宿期间，把四岁的女儿留在中国的辛虹好像最高兴的是抱婴儿。在实行独生子女政策的中国，因为她不能生第二个，所以就像自己的亲生儿子一样疼爱我儿子。我们相互约定：包括给她寄我儿子成长过程的照片在内，今后要长期地交流下去。



# 新中国基层工作人员邀请计划



# 一、新中国基层工作人员邀请计划

## 1. 计划概要

### 1) 目的

“新中国基层工作人员邀请计划”的目的是，通过日本与中国基层工作人员的交流，支援中国现代化建设，同时为了面向21世纪确立更加美好的中日合作关系，增进相互之间的理解和信赖。

### 2) 实施方法

#### A 邀请人数

1998年度一次邀请100名青年

#### B 邀请对象

在以下各领域里从事领导工作的20~35岁的青年

##### (I) 产业基础设施建设 25名

地方政府有关工作人员、地方环保政策有关工作人员等

##### (II) 经济开发 25名

经济有关工作人员、贸易实际业务有关工作人员等

##### (III) 地区振兴 25名

省·自治区政府的农业有关工作人员、地方政府的地区开发有关工作人员（社会基础设施建设或经济·贸易有关工作人员）、乡镇企业有关工作人员等

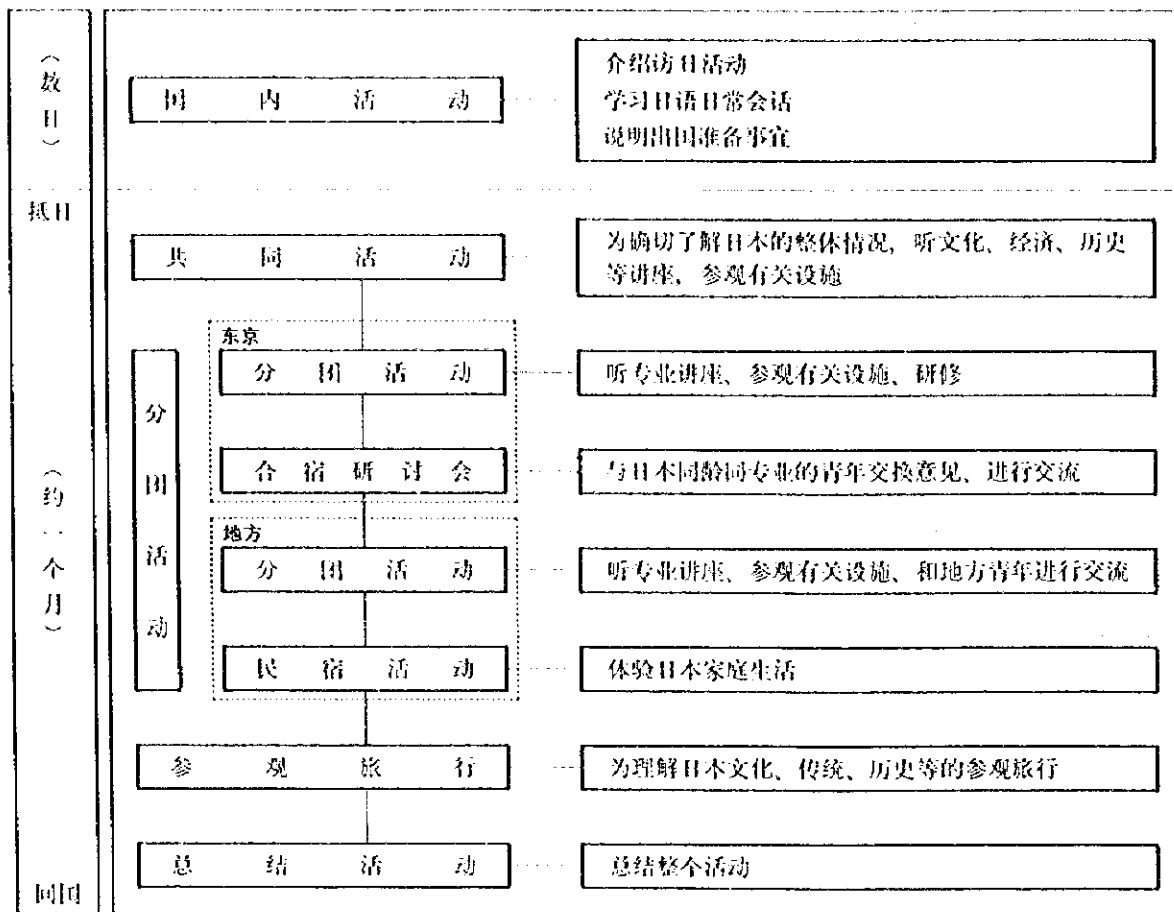
##### (IV) 人材培养 25名

文化振兴有关工作人员、人材培养有关工作人员等

#### C 邀请日期

7月15日~8月11日约一个月

### 3) 日程概要

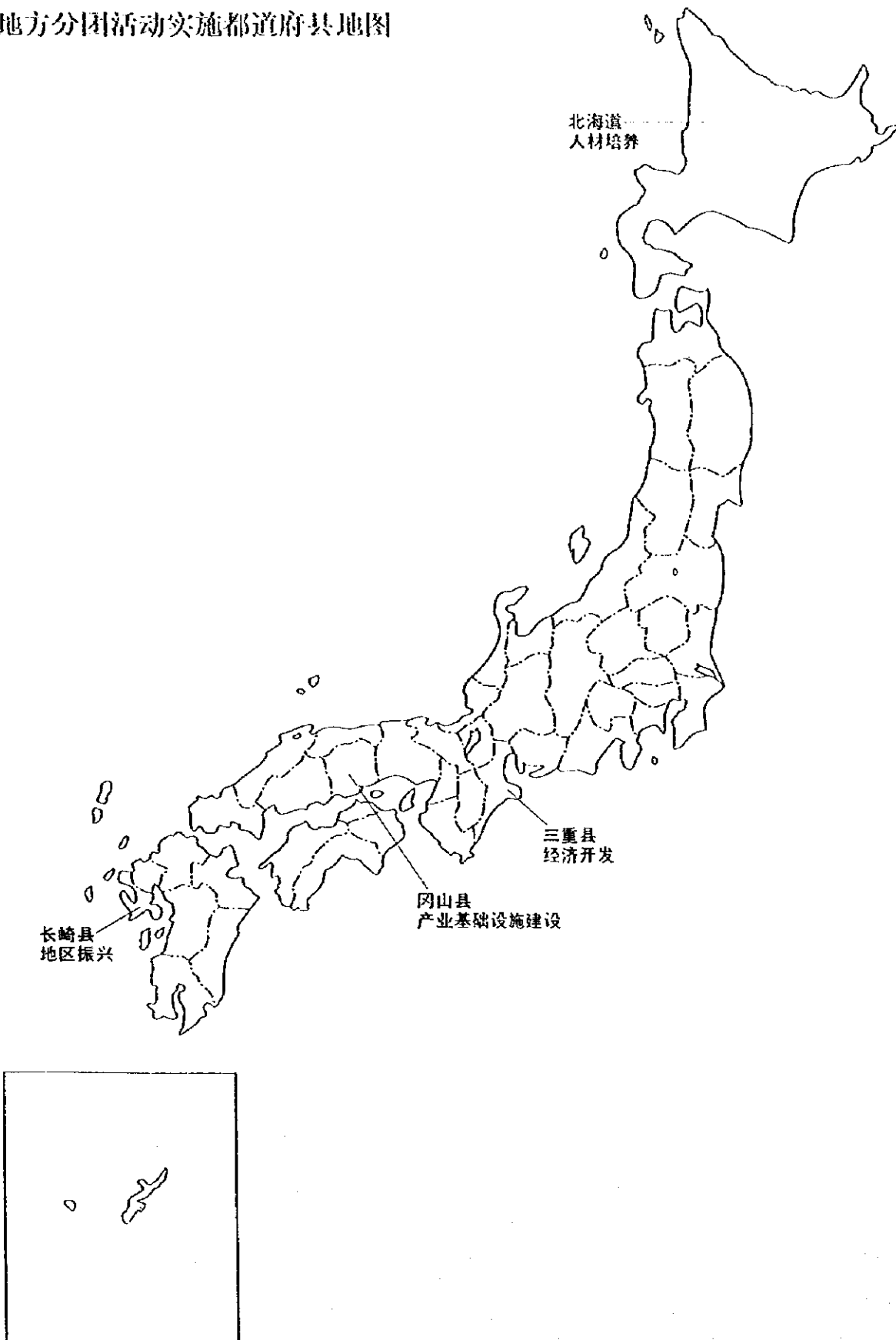


## 2. 计划实施情况

分团	人数	实施协助团体	实施都道府县
产业基础设施建设	25	日本国际协力中心	冈山
经济开发	25	勤劳厚生协会	三重
地区振兴	25	世界青少年交流协会	长崎
人材培养	25	青年工作者能力开发协会	北海道

\* 日本国际协力中心为所有分团安排实施了共同活动和总结活动。

### 地方分团活动实施都道府县地图





## 二. 应邀青年的感想

### 访日感想

申江婴

(产业基础设施建设分团)

在过去的二十八天里，JICA的有关部门为我们产业基础设施建设分团作了大量富有成效的工作，安排了内容丰富多样并极具特色的活动。

其中，关于交通运输、环境保护和信息产业等领域的讲座和对濑户大桥、明石海峡大桥、吉备高原城市、三菱石油、NTT霞关信息中心的实地参观访问使我们对日本上述三个领域的发展状况、先进技术有了较深入的了解。另外，通过茶道、插花的讲座及对京都、奈良、姬路等的参观，我们对日本的社会、文化以及日本人民有了较全面的了解。而合宿交流和民宿活动使我们与日本青年结下了深厚的友谊。

我们坚信，本次活动将为中日两国建立面向二十一世纪的睦邻友好关系起到积极的作用。

### 中日友好 民心所向

卢圣亮

(经济开发分团)

一个月的时间过得真快，一下就到说再见的时候了。蓦然回看，许多事情历历在目。我想起了那两次生日晚会，想起了那失而复得的钱包，想起了中日两国青年在富士山脚下乳文融般的情意以及离别时落下的泪花。我还想起三重县那个卖梨的农民，当她得知我是从中国来的时候，她特意赠送一箱香梨。我还想起无数

个陌生的日本朋友，他们在我们遇到困难时给予了我们热情而周到的服务。这些无不使我深切地感受到了日本人民对中国人民的友好情意。中日友好，民心所向，相见时难别更难。我们虽然就要分别了，但我们的心贴得更近了。愿我们的心为世世代代的中日友好一起跳动吧！

### 世界将会更美好

鲜伟怡

(地区振兴分团)

在日本的这些天里，我们几乎天天唱歌。欢聚的时候，大家齐声高唱中日文的“干杯”。娱乐的时候，就哼着“喂，龟(日本童谣)”，练习“托球游戏”。离别的时候，“再见，再见，等到明年的这一天”又久久的回响，大家谁也不想离开。歌声唱出了我们彼此的心愿和祝福，各自对家乡、对亲人的赞美与思念。歌声拉近了我们，歌声打动了我们，我们在歌声中加深了相互的了解，增进了彼此的友谊。这一个月的经历让我坚信，语言不是阻碍人们交往的障碍，只要我们每个人都抱有开放与宽容的心态，我们一定能够成为好朋友。同样，国家之间要是友好相处，世界一定会变得更加美好。

### 加强交流与了解 共同迈向21世纪

魏振水

(人才培养分团)

日本发达的经济，便利的交通与通讯，优良的教育、文化设施，整洁的环境给我留下了深刻的印象。日本人民勤奋、务实、自律使我难忘。特别是在合宿

及民宿中，日本青年及民宿家庭所表现的友善和真诚使我深受感动。

21世纪必将是世界经济一体化加速发展，各国家、各民族文化相互渗透并交融的世纪。21世纪的和平、繁荣与发展需要世界各国人民的共同努力。为此，加强交流，增进了解，深化友谊是包括中日两国在内的世界各国人民的共同责任。我将为此做出自己的努力和贡献。

真诚地感谢邀请我们访问的日本国际协力事业团及有关人士！



## 三. 参加合宿研讨会的日本青年的感想

### 新学期开始了

坂井建一郎  
(公司职员)

一下子认识那么多的朋友，好像又回到了学生时代的新学期，但与学生时代不同的是其中一半都是来自中国的青年。新学期是非常紧张的，但充满内心的那种期待和不安又与学生时代的新学期有所不同。

然而，大家在一起又吃又喝，又说又笑，又打又闹，时间转瞬即逝，紧张也云消雾散了。汉语，英语时而又掺杂着日语，大家揉着疲惫的眼帘谈到深夜。在返回东京的车上，觉得睡觉很可惜，于是大家以歌声和游戏又度过了一个欢愉的时光。每在一天结束时才感到时光的流逝如此之快。

不可思议的是即使在这么短暂的时间里，也可以共度欢乐时光，交谈很多互相感兴趣的话题，使彼此更希望了解对方。我觉得人与人之间的一种新的关系已经开始了。

### 结婚与家庭生活

富岛正雄  
(公司职员)

合宿讨论的中心议题是“结婚与家庭生活”。也许是大部分中国青年已结婚了的原故，“你理想的形象是什么样的？”“为什么不结婚？”等接二连三的提问使日本青年有些招架不住，因为以我为首大部分日本青年都是未婚。

其间，中方青年情不自禁地欣然讲述“自己的家庭生活”，“偶人的相遇”等等，同时对与日本情况一样的中国晚婚现象也表示担忧。

通过这次讨论，我感到日本人和中国人尽管语言、文化不同，但同样想往着幸福，是面临同样课题的同样的人。

朋友们，望你们珍爱自己的家庭！

### 有感合宿研讨会之余

丸山铃香  
(公司职员)

人们都把日中两国的关系称为一衣带水，但实际上真正面对面推心置腹的交流太少了。我怀着与同龄青年进行直接而广泛的交流的愿望参加了这次合宿研讨会。

从分组讨论到交流晚会，加之通宵达旦的宴会，三天里我们谈了三峡水库、环境保护，谈了中国的外交、住宅改革，还谈了恋爱观、婚姻观等很多问题。交谈中，当我知道无论哪国青年思考的问题都是相同的时候，内心略感欣慰。

在从热海返回的车上，我们与中国青年一起做“乒乓球”游戏，狂欢大闹。我突然想起鲁迅在小说《故乡》的最后一段有这样一句话：地上本没有路，人走多了，也就成了路。我想从此次小小规模的国际交流里一定会走出一条光明大路！

## 与中国青年的交流

佐藤利行  
(公务员)

两晚三天时间虽然短暂，但我却与中国同龄青年共同度过了愉快的生活。日中西国青年为使合宿研讨会取得成功同心协力、积极交流，研讨会开得非常精彩而圆满。

中国青年友好礼貌，使我们充分感到了对日本青年的体贴和关照，同时或许由于中方大部分青年来自外交部及与国外密切相关的工作单位，又不免感到有些紧张和客气。如果中国青年未能得到充分休息的话，我深感抱歉。

合宿前我想尽量与更多的人进行交流，而一交谈起来他人的陌生感即刻消失，我感到了“北京老大哥”的亲情。

感谢使我获得了如此宝贵的体验。

## 四. 民宿主人的感想

### 笔谈中文

佐々木千代  
(冈山县)

为了给孙先生开欢迎晚餐会，我们包了饺子。孙先生刚一看见就说了声“JIAOZI”。我还以为是夸我呢，谁知原来中文把饺子叫做“JIAOZI”。

因着“JIAOZI”，晚餐会虽然已经开始了，但由于双方语言不通，半天不能交谈。这时，孙先生掏出纸和笔写起汉字来，大家看了一下便都“噢！”地发出了欢声，孙先生又接着写下去……。就这样，我们用支音片语的英语和汉字来传递着彼此的心声，愉快的交谈持续不断。我似乎对这些感到有点不可思议，仿佛隐约间窥到了日语的始祖。这一夜我们大家都感到中国近在咫尺，仿佛接触到了那辽阔的大地和远古的友人。

### 中国的郑伟先生

片冈峰子  
(三重县)

现在过着单身生活的我家接待了郑伟先生。他是来我家的第十个中国客人，但不会日语的，他还是第一个。尽管如此，我还是像往常生活一样，毫无做作。在我的朋友们盼望已久的欢迎会上，大家不停地用汉语交流，气氛非常热烈，晚会一直开到了十二点。郑先生感慨地说：“就像在中国一样，我真运气！”

在参加桑名采石节活动和去我山间小屋避暑的时

候，我的朋友们也一道前往，他们学到了很多生动地道的汉语。

郑先生好像很喜欢看通信卫星电视台的新闻节目。那时，我们不禁感到：“电波是没有国境的啊！”这给我留下了很深的印象。

分手前，我们在御在所岳附近尽情地兜风，这使他心满意足，也使我心情愉快地送走了友人。

### 语言不通心融通

平尾洒优美  
(长崎县)

语言不通心融通，这是我三天的亲身感受。接待以前，我最大的担心就是不懂汉语。许先生性格开朗活泼，连孩子们也马上和他亲热起来。我们用支音片语的英语和笔谈交谈到深夜。

八月一日是许先生二十七岁生日。在异国他乡过生日可不是常有的事，我们全家为他庆贺生日，他非常高兴。

我们约定“下次再见！”，便彼此告别了。这对我们全家来说是一次十分宝贵的体验。

“至全家：非常感谢三天的细心照顾，再见！”许颖悟。

这是许先生留给我们的最后一句话。

## 与快活的勇明再相会

石桥芳之  
(北海道)

盛夏与马先生的相遇是我们全家难以忘怀的一件大事。转瞬即逝的三天实在是太愉快了。与马先生结识使我感到中国是如此的亲近，亚洲是如此的狭小，这是一次最难得的相遇。

我们全家每人似乎都有着各自不同的感想：  
我要学习中文，到中国看勇明去。

(长子 中学二年级)

我要从最喜欢的勇明家天天去上中国的大学！

(次子 小学六年级)

我跟他学汉语真愉快，我要到中国去！

(长女 小学四年级)

他给我讲图画书，还跟我一起玩儿真高兴！

(三子 四岁)

跟中国的勇明认识后，全家都非常喜欢他，但愿有缘再相会。感谢使我们得到了一次宝贵的体验！

(妻子)

## 实施情况等资料

# 1. 迄今为止实施的青年邀请计划一览表

## (1) 新中日青年友谊计划

### ●1994年度(100名)

分团	人数	实施协助团体	实施都道府县	JICA支部等	地方协助团体
青年工作者	25	青少年育成国民会议	岩手	东北	(财)岩手县国际交流协会
青年职工	25	日本经济青年协议会	鹿儿岛	九州	(财)鹿儿岛县国际交流协会
公务员	25	日本青年旅舍协会	宫城	东北	宫城县青年旅舍协会
教员	25	青年海外协力协会	石川	北陆	(财)石川县国际交流协会

### ●1995年度(98名)

分团	人数	实施协助团体	实施都道府县	JICA支部等	地方协助团体
青年工作者	25	日本青年团协议会	冈山	中国	(财)冈山县青年馆
青年职工	25	日本经济青年协议会	三重	东海	三重县联合青年团
公务员	23	国际交流服务协会	长崎	九州	(财)长崎县国际交流协会
教员	25	日本教科文协会联盟	福岛	东北	福岛教科文协会

### ●1996年度(100名)

分团	人数	实施协助团体	实施都道府县	JICA支部等	地方协助团体
青年工作者	25	日本青年旅舍协会	宫城	东北	宫城县青年旅舍协会
经济	25	日本经济青年协议会	长崎	九州	长崎县世界青年友好之会
公务员	25	青年工作者能力开发协会	福井	北陆	武生市国际交流协会
教员	25	日本国际协力中心	兵庫	关西	(财)兵库县青少年本部

### ●1997年度(100名)

分团	人数	实施协助团体	实施都道府县	JICA支部等	地方协助团体
青年工作者	25	日本青年旅舍协会	宫城	东北	宫城县青年旅舍协会
经济	25	日本经济青年协议会	德岛	四国	德岛县日中青年交流协会
公务员	25	青年工作者能力开发协会	岩手	东北	(财)岩手县国际交流协会
教员	25	国际交流服务协会	栃木	关东	(财)栃木县青年会馆

### ●1998年度(100名)

分团	人数	实施协助团体	实施都道府县	JICA支部等	地方协助团体
青年工作者	25	青少年育成国民会议	冲绳	冲绳	(财)冲绳县青少年育成国民会议
经济	25	青年工作者能力开发协会	石川	北陆	小松市国际交流协会
公务员	25	世界青少年交流协会	德岛	四国	德岛县日中青年交流协会
教员	25	国际交流服务协会	富山	北陆	(财)富山国际中心

\*日本国际协力中心为所有分团安排实施了共同活动和总结活动。

## (2) 新中国基层工作人员邀请计划

## ●1994年度(100名)

分团	人数	实施协助团体	实施都道府县	JICA支部等	地方协助团体
产业基础设施建设基层工作人员	25	日本国际协力中心	北海道	北海道	苫小牧国际交流中心
经济开发基层工作人员	25	国际交流服务协会	长崎	九州	长崎县世界青年朋友会
内陆地区振兴工作人员	25	日本友爱青年协会	岛根	中国	友爱青年联盟岛根县分部联合会
文化、人材培养(教育)	25	世界青少年交流协会	岐阜	东海	(财)大同国际交流协会

## ●1995年度(99名)

分团	人数	实施协助团体	实施都道府县	JICA支部等	地方协助团体
产业基础设施建设	25	日本青年旅舍协会	鸟取	中国	鸟取青友会
经济开发	24	勤劳厚生协会	爱媛	四国	(财)爱媛县国际交流协会
地区振兴	25	世界青少年交流协会	香川	四国	香川县海外派遣朋友会
人材培养	25	青少年育成国民会议	冲绳	冲绳	(财)冲绳县青少年育成县民会议

## ●1996年度(100名)

分团	人数	实施协助团体	实施都道府县	JICA支部等	地方协助团体
产业基础设施建设	25	世界青少年交流协会	山口	中国	世界青年德山朋友会
经济开发	25	勤劳厚生协会	栃木	关东	栃木县外国青年邀请事业实行委员会
地区振兴	25	日本国际协力中心	鸟取	中国	鸟取青友会
人材培养	25	青年海外协力协会	冲绳	冲绳	(财)冲绳县青少年育成县民会议

## ●1997年度(100名)

分团	人数	实施协助团体	实施都道府县	JICA支部等	地方协助团体
产业基础设施建设	25	世界青少年交流协会	兵庫	大阪国际中心	(财)兵库县青少年本部
经济开发	25	勤劳厚生协会	鸟取	中国	鸟取青友会
地区振兴	25	青年海外协力协会	北海道	北海道	十胜国际协会
人材培养	25	青年工作者能力开发协会	冲绳	冲绳	(财)冲绳县青少年育成县民会议

## ●1998年度(100名)

分团	人数	实施协助团体	实施都道府县	JICA支部等	地方协助团体
产业基础设施建设	25	日本国际协力中心	冈山	中国	(财)冈山县国际交流协会
经济开发	25	勤劳厚生协会	三重	东海	(财)三重县国际交流财团
地区振兴	25	世界青少年交流协会	长崎	九州	长崎县世界青年朋友会
人材培养	25	青年工作者能力开发协会	北海道	北海道	十胜国际协会

※日本国际协力中心为所有分团安排实施了共同活动和总结活动。

## 2.1998年度青年邀请计划实施情况一览表

邀请日期	国家	领域	人数	实施协助团体	实施都道府县
5月6日 ↓ 6月2日 第1批 49名	马来西亚 ↓ 马来西亚	经营A (经济经营) ↓ 教育	24 ↓ 25	青少年育成国民会议 ↓ 日本青年旅舍协会	滋贺 ↓ 北海道
5月13日 ↓ 6月9日 第2批 66名	印度尼西亚 ↓ 印度尼西亚 ↓ 印度尼西亚	经济A ↓ 经济B ↓ 教育	20 ↓ 24 ↓ 22	国际交流服务协会 ↓ 勤劳厚生协会 ↓ 青年海外协力协会	枥木 ↓ 群馬 ↓ 山形
5月20日 ↓ 6月16日 第3批 34名	新加坡 ↓ 新加坡	经济A ↓ 经济B	17 ↓ 17	日本经济青年协议会 ↓ 勤劳厚生协会	大阪 ↓ 北海道
5月20日 ↓ 6月16日 第4批 100名	中国 ↓ 中国 ↓ 中国 ↓ 中国	青年工作者 ↓ 经济 ↓ 公务员 ↓ 教员	25 ↓ 25 ↓ 25 ↓ 25	青少年育成国民会议 ↓ 青年工作者能力开发协会 ↓ 世界青少年交流协会 ↓ 国际交流服务协会	冲绳 ↓ 石川 ↓ 富山 ↓ 富山
5月27日 ↓ 6月23日 第5批 111名	东盟多国 ↓ 东盟多国 ↓ 东盟多国 ↓ 东盟多国	环境保护 ↓ 社会福利 ↓ 保健医疗 ↓ 行政	20 ↓ 28 ↓ 30 ↓ 24	日本经济青年协议会 ↓ 札幌国际广场 ↓ 国际护理交流协会 ↓ 青少年育成国民会议	北海道 ↓ 北海道 ↓ 群馬 ↓ 福冈
6月10日 ↓ 7月7日 第6批 35名	文莱 ↓ 老挝	社会开发 ↓ 农业有关公务员	15 ↓ 20	日本国际生活体验协会 ↓ 高知县国际交流协会	广岛 ↓ 高知
6月25日 ↓ 7月22日 第7批 39名	新加坡 ↓ 新加坡	教育 ↓ 社会开发	20 ↓ 19	日本青年旅舍协会 ↓ 青年工作者能力开发协会	香川 ↓ 冲绳
7月1日 ↓ 7月28日 第8批 99名	韩国 ↓ 韩国 ↓ 韩国 ↓ 韩国	青年工作者、公务员 ↓ 青年职工 (技术人员) ↓ 教员 (中学) ↓ 学生 (理工科)	24 ↓ 25 ↓ 25 ↓ 25	日本青年旅舍协会 ↓ 勤劳厚生协会 ↓ 国际交流服务协会 ↓ 世界青少年交流协会	群馬 ↓ 北海道 ↓ 茨城 ↓ 北海道
7月8日 ↓ 8月4日 第9批 112名	马来西亚 ↓ 马来西亚 ↓ 印度尼西亚 ↓ 印度尼西亚	经营B (中小企业) ↓ 农业开发 ↓ 科学技术开发 ↓ 农业 ↓ 社会开发	24 ↓ 15 ↓ 24 ↓ 25 ↓ 24	日本青年旅舍协会 ↓ 青年海外协力协会 ↓ 丰田市国际交流协会 ↓ 岩手县国际交流协会 ↓ 青少年育成国民会议	埼玉 ↓ 大分 ↓ 爱知 ↓ 岩手 ↓ 熊本
7月15日 ↓ 8月11日 第10批 50名	越南 ↓ 越南	经济 ↓ 农业	25 ↓ 25	青年工作者能力开发协会 ↓ 青年海外协力协会	兵库 ↓ 和歌山
7月15日 ↓ 8月11日 第11批 100名	中国 ↓ 中国 ↓ 中国 ↓ 中国	产业基础设施建设 ↓ 经济开发 ↓ 地区振兴 ↓ 人材培养	25 ↓ 25 ↓ 25 ↓ 25	日本国际协力中心 ↓ 勤劳厚生协会 ↓ 世界青少年交流协会 ↓ 青年工作者能力开发协会	冈山 ↓ 三重 ↓ 长崎 ↓ 北海道
8月10日 ↓ 9月15日 第12批 69名	泰国 ↓ 泰国 ↓ 泰国	经济A ↓ 经济B ↓ 农业	20 ↓ 24 ↓ 25	日本经济青年协议会 ↓ 勤劳厚生协会 ↓ 日本青年团协议会	鹿儿岛 ↓ 爱知 ↓ 冈山



邀请日期	国家	领域	人数	实施协助团体	实施都道府县
8月19日 ↓ 9月15日 第13批 45名	菲 律 宾 菲 律 宾	经济A 农业	20 25	日本国际协力中心 青年海外协力协会	香 川 石 川
8月26日 ↓ 9月22日 第14批 29名	巴布亚新几内亚 巴布亚新几内亚	公务员 教员	10 19	世界青少年交流协会 青年海外协力协会	新 泻 静 冈
9月23日 ↓ 10月20日 第15批 30名	不丹、马尔代夫 尼 泊 尔 斯 里 兰 卡	教育(小中高教员) 教育(理数科教员) 教育(小中高教员)	10 10 10	国际交流服务协会 日本国际协力中心 世界青少年交流协会	佐 贺 长 野 岛 根
10月7日 ↓ 11月3日 20名	沙 特 阿 拉 伯	教育(小中高教员)	20	青年海外协力协会	福 岛
10月14日 ↓ 11月10日 第16批 92名	非 洲 英语国家分团 法语国家分团 英语国家分团 法语国家分团	女教员1 女教员2 理数科教员1 理数科教员2	21 24 24 23	青少年育成国民会议 世界青少年交流协会 大阪府国际交流财团 青年海外协力协会	福 井 静 冈 大 阪 青 森
11月11日 ↓ 12月8日 第17批 59名	太平洋多国团 太平洋多国团 美 国 济	公务员 教员 公务员	24 23 12	日本经济青年协议会 日本国际生活体验协会 国际交流服务协会	德 岛 爱 媛 福 冈
11月18日 ↓ 12月15日 第18批 60名	緬 甸 孟 加 拉 国 巴 基 斯 坦	教育 公务员(福利、WID) 小中高女教员	20 20 20	日本国际协力中心 青年海外协力协会 日本青年旅舍协会	秋 田 京 都 宫 城
11月25日 ↓ 12月22日 第19批 58名	印 度 柬 埔 寨	教育(理数科教员) 经济	28 30	世界青少年交流协会 青少年育成国民会议	岐 阜 兵 库
11月25日 ↓ 12月22日 第20批 109名	东盟多国团 东盟多国团 东盟多国团 中亚多国团	教育 经济1 经济2 经济	25 29 30 25	爱知县国际交流协会 日本经济青年协议会 勤劳厚生协会 青少年育成国民会议	爱 知 鸟 取 山 口 北 海 道
1月13日 ↓ 2月9日 第21批 97名	泰 国 泰 越 越 南	教育 社会开发 公务员 教育	22 25 25 25	日本国际协力中心 国际交流服务协会 日本青年旅舍协会 青年工作者能力开发协会	山 梨 大 阪 福 岛 宫 崎
1月13日 ↓ 2月9日 第22批 80名	菲 律 宾 菲 律 宾 菲 律 宾 蒙 古	教育 社会开发 经济B 青年职工	22 26 22 10	日本国际生活体验协会 日本青年旅舍协会 青少年育成国民会议 世界青少年交流协会	爱 媛 石 川 千 叶 山 口
1月20日 ↓ 2月16日 第23批 49名	中南美多国团 中南美多国团	社会福利 小中学校教员	22 27	世界青少年交流协会 青年海外协力协会	冈 山 冲 绳
合计	71个分团 110个国家及地区 1,592名	由东盟6国(741名)、缅甸(20名)、太平洋14个国家及地区(88名)、中国(200名)、 韩国(99名)、西南亚洲7国(98名)、蒙古(10名)、非洲19国(92名)、 印支3国(150名)、中南美21国(49名)、沙特阿拉伯(20名)、 中亚5国(25名)			



---

**青年招へい事業 一中国一 【交流レポート】 (1998)**

平成11年3月31日

発行 国際協力事業団研修事業部青年招へい課

〒151-8558 東京都渋谷区代々木2丁目1-1

新宿マインスタワー

電話 (03)5352-5101～3

編集 財団法人国際協力センター国際交流部

〒163-0189 東京都新宿区西新宿2-1-1

新宿三井ビル15F

電話 (03)5322-2561

---

無断転載を禁じます。









